

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
1	民主生活者ネット	西園寺 みきこ	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策2 互いに尊重し認め合う平和な社会の構築	平和施策の推進	フランスのテロの事件、そしてシリア・イスラム国における事件などが起きており、この武蔵野市においても平和ということの意義をまた自分たちが問い直さなければいけない状況が来ている。平和施策は、調整計画の中でも社会情勢の変化に応じて取り組まなければならない一つの大きなテーマと考える。MIAの更なる活動やオリンピックに向けた交流なども進めていくべきと考える。	【夏目委員長】武蔵野市においても平和の維持に向け、色々な措置を図っていくのは当然と思う。その具体的なやり方等については、また御意見もいただきながら今後の委員会のほうに上げていきたい。人権の問題も含めて多様性の問題、国際問題等に対して、MIAの活動も含めて、大事な課題であるということは十分認識し、議論の中でも出てきている。
2	民主生活者ネット	西園寺 みきこ				市民の力	18ページの緑・環境分野基本施策5の「市民自らの問題として解決できるような…」、19ページの都市基盤分野基本施策1の「住民の発意による…」22ページの行・財政分野基本施策3「市民による新しい視点の提案」等、討議要綱全体を通じて市民の力について意識的に書き込まれていると受けとめたが、その点については策定委員会の中でどのような議論がされたのか。	【夏目委員長】市民活動、コミュニケーションをいかに活性化するかということ、いろいろな意味で原点にならないと認識している。 【渡邊委員】これからの地域コミュニティ検討委員会に提案された地域フォーラム等の提案は、市民の力を生かすということにつながっていくと考えている。
3	民主生活者ネット	西園寺 みきこ	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策4 市民の多様な学びやスポーツ活動への支援	生涯学習	水の学校等の大人の学びについて私は評価しているが、連続講座のような、いろいろなテーマで大人の学びが保障されるような場というものが施策としてきちんと入っていかなくてはならないと思う。自発的なものを求めるのは当然だが、それを保障、バックアップする大人の学び、いわゆる社会教育又は生涯学習等、意欲を引き出すバックボーンとして土台となるような施策がやはり武蔵野では必要かと思うが、その点はいかがか。	【夏目委員長】そういったことをいろいろな形で実現していくということが大事だと思う。
4	民主生活者ネット	西園寺 みきこ				横串	横串に刺すということについて。縦割りの行政の中でどういうふうにつなぐかというのが常に長期計画においても議論になっている。コミュニティ、防災、福祉等、さまざまな分野で、施策を横串で刺すということとして、縦割りを越える価値観、これを目指すのだということが、もっと市民にもわかりやすく討議要綱なり調整計画に章立てとしてきちんと書き込まれるべきではないかと思う。	【夏目委員長】非常に重要な問題である。行政の縦割りというのは、とするとサービスが沈滞化するということにもなるし、横串の議論は、いろいろな分野で共通して大事な問題になる。そういった言葉を少し計画の中にもっと盛り込めという御意見を承った。
5	民主生活者ネット	西園寺 みきこ				食育	食育は現在も実施しているが、今後もっと進めなくてはならないテーマと考える。計画の中にもっとはつきり書いていただきたい。食育、それから都市農業の保全のような、農のあるまちづくりといった部分をもっと見える計画になって欲しい。	【夏目委員長】食育の問題、農家の問題も議論の中では当然出ている。今後、特に子どもたちの食育や健康のためにも、未来の武蔵野市のためにも、とても重要なテーマのため、いろいろな形で実現できるように御意見を拝聴したい。
6	むさしの無所属クラブ	ひがし まり子	I はじめに	1. 長期計画・調整計画について		武蔵野市方式	武蔵野市独自の方式、武蔵野市方式という言葉に関しては、いささか市民の方の一般論からすると、なかなかわかりづらいところもあると思うが、そのことについてどのようなお考えをお持ちか。	【夏目委員長】三位一体の計画策定、昭和46年以降のこのやり方というのは大事かつ魅力的なものであり、また、それをどういうふうに進めていくかということももちろん大事である。ただ、それが理念的なものに終わっていかないかという点については、現在もさまざまなことをやっているが、必ずしも理想的な姿とはいえないのではないかと認識している。
7	むさしの無所属クラブ	ひがし まり子	I はじめに	1. 長期計画・調整計画について		ニーズの把握	全市民のニーズの客観的把握というのは、具体的にどんなイメージを持っているのか。	【夏目委員長】無作為抽出やパブリックコメント等、現在もさまざまなことをやっているが、全市民の客観性としては、やはり法の規定による議会の決定を尊重し、そしてそれを一定の法的な手続に基づいてきちんと進めていく。その中に市民の声を吸収する機会なり時間なりがきちんととられているということが大事だと思う。そのことこそ公平性を保つことになるし、客観性を保持することになると認識している。
8	むさしの無所属クラブ	ひがし まり子	IV 人口推計・財政見直し	2. 財政見直し	(2) 財政見直し	今後の財政運営の厳しさ	財政見直しについて、借入金と基金とがリンクしていくことはもともと想定していたところだが、今後の厳しい財政運営ということについては、どの点が厳しいかを詳しく教えて欲しい。	【夏目委員長】今は歳出の不足を基金を繰り入れながら全体を組み込んでいて、近年は消費税アップの影響で歳入のほうが多く、基金も今まで積み立ててきている分があるが、平成30年、40年から先になると急激に減っていき、平成50年代に近くなると基金を使い尽くしてしまうという予測になっている。公共建物の建て替えがこれから目押しで、重要な課題である。生産年齢人口も、たまたまこのところは若い人が増えているが、将来的にはやはり減っていき、少子高齢化がますます進む。それに対する歳出増も目に見えている。 【堀井委員】実際の計画の策定段階ではもう少し踏み込んだ財政の見直しというものを提出していきたいと思っている。ただ、今の予測は今の税制度、地方自治制度のもとによるものなので、今後国全体の地方自治体の財政危機という問題について国が制度としてどのように対応していくかというのは、大きな要因ではないかと思う。
9	むさしの無所属クラブ	ひがし まり子	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策1 子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援	保育の接続	地域型保育事業と既存の保育の円滑な接続を図るため、相互の連携を図るというところの少し具体的なお話をお願いしたい。	【松本副委員長】認証保育所をどのように認可化していくのか、あるいは小規模保育施設をどういうふうに進めていくのか等については、まだ策定委員会の中でそこまで踏み込んで議論はできていないため私見になるが、この武蔵野市の保育ニーズにどのように子ども子育て支援新制度を活用しながらやっていこうかというところは、これから策定委員会の中できちんと詰めていかなくてはならない部分だというふうに認識している。
10	むさしの無所属クラブ	ひがし まり子	V 分野別の課題と方向性	3 子ども・教育	基本施策2 子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援	保育の予約制度	育児休業取得後に安心して復職できる制度というのは、保育の予約制についての話なのか。待機児童対策は緊急を要してやってくわけだから、その枠だけを拡充するというのではなくて、一つの手段として、試行として予約制度をやってみるのは価値があるのではないかなというのを強い要望としてお伝えしておきたい。	【松本副委員長】委員会の中でまだ丁寧な議論はできていない。予約制度についても色々なやり方があると思う。何が一番武蔵野市の働く女性、あるいは子育てをしている家庭にとっていいのかということも、地域の個性も見据えながら、これから策定委員会において丁寧に議論を展開していくべき部分だというふうに認識している。

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
11	むさしの無所属クラブ	ひがし まり子	V 分野別の課題と方向性	6 行・財政	基本施策5 社会の変化に対応していく財政運営	財援助団体の統合	財援助出資団体の自立化を目指すというの、何か自立化ということに関するの、もう少し具体策が策定委員会の中で話し合われたかということをお伺いしたい。	【夏目委員長】財政援助出資団体の数が多いこと、サービスの主体は誰が受け持つのか等の課題と、市民ニーズというものがどこで接点を求められるのかといったところを含めて、非常に大事な検討課題と思っている。 【麓委員】財政見直しをしっかりと、協働という言葉も今までの話にあったように、すべてが公とかなということではなく、民間、またいろいろなセクターの力を借りて健全な財政運営をしていくべきものだと思っている。財援助団体の統合、自立についても、乱暴な議論ではなくて、ニーズを踏まえてやっていき、健全な財政運営を送る。
12	会派に属さない議員	内山 さとこ				調整計画の策定における基準	今回の調整計画の大きなフレームについて、今回、調整計画を皆様で議論するにあたり、社会状況の変化、また国際的な情勢の問題など、どういったことを基準として調整していくという方向になられたかということをお伺いしたい。	【夏目委員長】基本的な五長の精神は継承しながら、まずは五長策定後に法令で改正があった事項、それから社会経済環境の変化に基づいて対応しなければならない緊急的な事項、そういうものはやはり対応すべきであろうということで、大枠のところの方針として、私が最初に申し上げたところである。
13	会派に属さない議員	内山 さとこ				策定委員になっての感想	麓委員におかれましては、民間の研究所でお仕事をされている立場で、こうした行政の計画策定にあたって、この武蔵野というまちについて、今回策定委員になられたことでの客観的に見ていらっしゃるか、忌憚らない御意見を伺いたい。	【麓委員】やはり企業というのは利潤の追求ということがあるため、策定委員もそういう目標でさせていたでいる。武蔵野市はインナーコミュニケーションが下手ではないかといった話もあり、そうすると結局外部とのコミュニケーションも問題になってくる。内外のコミュニケーションの仕方というのをもう少し考えた方がいいのではないかなと思った。また、産業振興の視点が多少欠けているのではないかなという視点から、少し収入を増やすような施策もやられてはどうかということで討議要綱の中に盛り込ませていただいている。市民の中でも女性の参画があったほうがよいのではないかなという感想も持っている。
14	会派に属さない議員	内山 さとこ				策定委員になっての感想	市民会議から入られた市民の公募委員のお二人には、ぜひ市民の視点から、こういった策定委員会に入られた、まず御自身のお考え、それと、入ってみて実際に議論をされた中で持たれた感想であるとか、そういったものをお聞かせいただきたい。	【井原委員】第三期長期計画・第二次調整計画のときの市民ヒアリングから色々意見を言っていく中で、中に入れるものなら入って実態としてどう議論をしているのか、自分の意見をきちんと言っていくかと思つた。その中で他の人の意見をどのように取り込み、どうやって反映させていくべきなのか。いかにして多くの方の意見を聞き取るかが課題と思っている。委員になっての感想としては、討議要綱に関してだと、行政、市民、そして策定委員会それぞれの考えを全部網羅して作ってもよかつたのではないかなと思つている。まず平たいところから各々の立場で課題を出すことがきたらよかつたのではないかなと思つている。 【本田委員】私が策定委員会に入ってきた動機は単純で、去年保育園に入れなかつたので、これは保育園を増やさなくてはならないと思つたことがきっかけである。やる中で感想としては、私などは家族や友人、職場の理解があつてこそここに来ることができると、本当に困っている人というのは、意見を出すこともできない、そうした方たちの声というのをどうやって把握し反映していくのかというのが難しいところだなと思つている。
15	会派に属さない議員	内山 さとこ	IV 人口推計・財政見直し	2. 財政見直し	(2) 財政見直し	財政見直し	長期計画策定時には、今後長期的に公共施設の再編・整備を行うにあつて総額約1,600億円必要だというふうな試算があつたが、今回の調整計画においてもそういった見直しについて、具体的な金額を財政計画としてお示しいただける方向にあるかどうか。	【堀井委員】今後の工事単価等が不明のため、細かい具体的な数字は出せないと思つているが、今現在32万平米の床があつて、それを平米単価30万円再建するとしても約1,000億円かかるというふうなことはわかるので、そういう大ざっぱな計算をしながら、大体再建するのであればどれくらいの費用が見込めるのかという点についてはお示しできると考へている。
16	会派に属さない議員	内山 さとこ				インナーコミュニケーションの必要性	インナーコミュニケーションというものの武蔵野での必要性というところを、もう少し具体的に示していただけませんか。	【麓委員】デジタルコミュニケーションの活用も一つの方向として考へたい。武蔵野に愛着を持っていたけるような次世代への取組み及び広聴活動が必要ではないかと思ふ。
17	市議会公明党	小野 正二	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉	基本施策1 支え合いの気持ちをつむぐ	地域リハ、その他	福祉分野において地域連携とかそういうものは非常に核になっているのではないかなというふうにも思ふ。ある程度のレベルの連携というのがもうできている武蔵野市としては、地域リハビリテーションとかそういうものを実践している中で、ではその次にどのようにしていくのかということも含めて、委員の皆さんが討議要綱の中にいかに盛り込んでいったのかということをお伺いしたい。	【渡邊委員】連携というものが、こと健康・福祉分野に関しては非常に重要だということとは本当に御指摘のとおりである。地域包括ケアの必要性としては、介護を行うときには専門職や家族がただ行方だけでは無理だというのが現状の問題としてあり、地域全体の中で支え合いというものを作っていく必要性が必ずある。また、自治体の中でやれることがある中、自治体でやり切れないところをどのように周囲で支え合っていくのかを考へたときに地域の目というものを上手に作って行く必要がある。そこでさまざまに重層的なレベルでの連携が必要になってくると考へられる。連携をしなければ問題解決が図れないこと、そして実際の現場ではなかなか難しいという条件を共有していくことが重要だと考へて、委員会での議論と、具体的な書き込みを行った。
18	市議会公明党	小野 正二				連携の具体的な進め方	調整計画を作るにあつては、今まで長期計画の中にも連携については織り込まれてきていて、ではもう一歩、二歩、三歩連携を進めるためにどうすることが必要か。市民の方々からの意見を聞く中でどうされるかということをお聞かせいただきたい。	【渡邊委員】在宅生活の継続という点で一つの連携の例として、地域ケア会議がある。こちらはまだまだ導入したばかりだが、さまざまな例で多職種の連携を図っていることをしっかりと行い、また、そのノウハウを共有していくことが恐らく重要だというふうにも考へている。特にこのノウハウの共有という側面では、介護問題は早期の離職とかといった問題も多くあるので、そういった支援等も含めて重要になると考へている。

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
19	市議会公明党	小野 正二	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉	基本施策2 誰もが地域で安心して暮らしていける仕組みづくりの推進	防災における連携	防災に関しては、4年前の経験を踏まえて意識というのは非常に高まってきたと思うが、今後さらなる連携をしなければいけないと思っている。その辺をどのように議論していけるおつもりか伺いたい。	【堀井委員】災害時における連携というのは、これは非常に重要な視点だというのは委員御指摘のとおりだと考える。近隣関係での救助というのは非常に重要な要素を占めている。コミュニティとして普段からいろいろな問題で連携ができていなければ、災害のときだけ連携をしようと言っても難しいと思われるので、この討議要綱を通じて地域コミュニティの重要性を訴えているところである。 【夏目委員長】災害との関係では災害弱者の問題もある。その問題がやはり今の連携の中に当然浮き上がってこなくてはならず、その点も策定委員会では議論している。
20	自由民主クラブ	高野 恒一郎	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策3 青少年の成長・自立への支援	ジャンボリーについて	長期計画の本体のほうにはジャンボリーに関する記述が載っていたが、その辺の記述がこの調整計画の討議要綱ではそっくり消えてしまっているのはどうしてなのかということをお伺いしたい。	【松本副委員長】意図的に抜いたわけではなく、討議要綱なので一個一個の個別の事項を抜いている部分もある。ジャンボリーを軽視しているということではない。私たち自身もジャンボリーというのは非常に重要な役割、子どもあるいは青少年にとって大切な役割、機能を持っているというふうには認識をしている。
21	自由民主クラブ	高野 恒一郎	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策5 次代を担う力をはぐくむ学校教育	子どもたちの健康・体力に関する記述について	子どもたちの体、健康、体力、そういったことに対する書き込みが全くないように見える。長期計画の本体の方にもこのことは入っていないので、新しいことは入れられないということであればそれは構わないが、見解を伺いたい。	【松本副委員長】子どもの教育に関しては、心・技・体、体はとも大事である。子どもの命と健康と尊厳を守っていくというのは、大切なことだと認識している。御意見は大事に承る。
22	自由民主クラブ	高野 恒一郎	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策5 次代を担う力をはぐくむ学校教育	自校給食の設置について	「全小学校への自校給食施設の設置を検討する」というのが、以前にはなかったものが新しく加わっているように見えるが、この記載はどのような理由で入ったのかお尋ねしたい。	【松本副委員長】個人的には財政負担の見地から、全小学校・中学校にできるのかというのは心配をしている。大きな災害に見舞われて大きな被害が出たときに、小学校に調理場があるということは、防災の観点からも非常に重要なことだと思っているので、子ども・教育分野に絡んで防災面からの横串で書き込みがなされた。
23	自由民主クラブ	高野 恒一郎	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策5 次代を担う力をはぐくむ学校教育	自校給食の設置について	自校式にすることで今後のコストが増えていくだろうということが想定できる中で、自校式を前提に討議要綱に書いてしまうというのは、私は疑問を受ける。必要であれば、また学校改革のときに個別に議論してもいいのではないかと。討議要綱に書き込むことで、必要かどうかという議論、検討ではなくて、もう行うための検討になってしまうと思う。ここに書き込まないと自校式の給食はできないというわけではないと考えるが、その辺もあわせてお尋ねしたい。	【五十嵐委員】基本は、こういう大きなことというのは、長期計画や調整計画に載せて、それに沿ってやっていくべき事項だと思っている。したがってこの調整計画の中でさらにもっと議論を深めて方向性をはっきりさせていくべきだと思っている。 【堀井委員】調整計画の期間中に小学校の建てかえを検討しなければいけない学校が出てくる。その際小学校の調理場を単独でつくるかつづらないかの考え方をしっかり持っていないと、その前になってその学校だけの問題として対応するわけにはいかないので、あらかじめ今後小学校については単独の調理場が必要なのかどうか、の考え方をここでしっかりと議論をしておこうという意味で討議要綱の中に入れていた。
24	自由民主クラブ	高野 恒一郎	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策4 市民の多様な学びやスポーツ活動への支援	スポーツ活動へのソフト面の支援について	スポーツ活動に関し、ソフト面、事業面に関する支援に関する記述が全くないというのは寂しく感じる。ここにやはり例えば障害者スポーツの環境の充実といったこととできれば取り入れていただければと思うが、その辺りの回答をお願いしたい。	【松本副委員長】障害者の方については、スポーツだけではなくてコミセンを使いやすかったりとか、いろいろなところが使いやすいように合理的な配慮ができていけるような計画にするというのは、障害者差別解消法の成立の背景からしても当然のことかと考える。スポーツのところについては、ソフトの面というのはとても大事で、今、コミュニティスポーツはどこの自治体、あるいはNPOでも活発にやっているし、力を入れている部分ではあるので、コミュニティスポーツをどう立ち上げ活性化していくのかということも本当は議論の俎上に上がってきている部分かなというふうには思っている。 【渡邊委員】9ページの健康・福祉の基本施策の4の(1)に「高齢者だけでなく、障害者も社会参加や文化・芸術、スポーツを通じて自己実現を図る仕組みづくりを推進する」という記述があるが、まさにこれも横串のうちの典型例であり、このあたりをうまく見せられるような仕組みづくりがまだできていないので、こういった他の施策との関連性といったものを見せられるように今後できればと思っている。
25	自由民主クラブ	高野 恒一郎	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策6 都市・国際交流の推進	国際交流推進とオリンピック・パラリンピック	国際交流の推進に関して、ここにオリンピック・パラリンピックを絡めての何か記述があってもよかつたのではないかなと思っている。うまく取り入れて国際交流などにつなげられるような考え方があったらいいと思う。その辺りに関しては一つお考えを伺いたい。また、産業の振興のところにはオリンピックを入れられないか、そういう議論がもし委員会の中であったとすれば、教えていただきたい。	【夏目委員長】日本社会全体の産業構造の変化ということを見据えていくと、観光というのは非常に重要なキーワードになると考える。オリンピックだけで終わるということではなくて、観光は連続性を持った施策になり得るというふうには私は考えている。 【籠委員】産業振興に関し私見を述べさせていただくと、武蔵野市にはものづくりであるとかのインキュベーション施設を充実させていることが必要なことということ、インバウンド消費ということで海外の観光客を地の利のいい武蔵野市に呼び込むというふうなことがオリンピック・パラリンピックにとっては一つの重要な施策かなと思っている。
26	自由民主クラブ	高野 恒一郎	V 分野別の課題と方向性	3、今後の策定の流れ	基本施策7 災害への備えの拡充	防災におけるソフト面の記述	自助・共助・公助と言われている中で、公助に対する要求がすごく高まっていて、逆に、自助・共助の部分というのが、広く見ると、まだ薄いのではないかと感じるときがある。防災についても、ハード面の整備だけではなくて、皆さん一緒に考えてやりましょうというような文言があってもいいのではないかとと思うが、その辺はいかがか。	【夏目委員長】自助・共助に関する具体的な工夫を制度的な枠の中にどういうふうにつなげるのか。きちんと仕組みを整えていかないと、今後、形だけつくっても魂入らずで実際に機能しないのでは意味がないので、そこは非常に重要な課題だと思っている。ただ、これは非常に市民活動、コミュニティ活動、日常のそれぞれの市民の考え方というようなものが微妙に異なっていたりするため、きちんとそういったことができるように議論をさらに深めていきたい。
27	日本共産党武蔵野市議団	しば みのる	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉	基本施策1 支え合いの気持ちをつむぐ	介護保険制度の改正と自治体の施策	特に福祉については国の動向の影響というもの大きくなるかと思う。介護制度の改正に伴って、要支援というサービスが地域の支援事業に変わっていく中で、自治体の施策としてはなかなか進まないという話もある。なぜ進まないのか、そしてその課題についてどう取り組むかというのが大きな問題かと思う。どういう課題があるのかということと同時に、国の動向はどのように影響するかということもやはり盛り込む必要があるかなと思っているが、その辺についてどのようにお考えか、伺いたい。	【渡邊委員】国の動向、法の改正を踏まえて見直しを行っていく必要がある。武蔵野市はこれまでもまちづくりをコミュニティの中で行うということの継続性をずっと保ってきた。それと新たに法律で定義された地域包括ケアシステムというものを融合させていくというスタンスで連携を図っている。ただ、連携を図ったからといっていきなり共助の仕組みがつけられるわけではないので、今ある仕組みでどのように介護保険等を支え、あるいは介護が必要な人にとって使えるような仕組みに置きかえるかといった点は、今現在、我々の中でも課題であり、その課題にどのように向かっていくのかということも皆で議論している段階である。

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
28	日本共産党武蔵野市議団	しばみのる	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉	基本施策1 支え合いの気持ちをつむぐ	介護保険制度の改正と自治体の施策	【渡邊委員】情報共有の重要性というのは全く御指摘のとおりであるし、また、介護保険制度、医療制度等非常に制度が複雑で、なかなかそのことを市民の皆様へ御理解いただけないという点についても御指摘のとおりだと思ふ。市民が主体となる地域福祉活動の推進の前提となる基盤として、いわゆる仕組みということをも市民の方々に御理解いただく、あるいはそれを共有していくということが必要になる。そのあたりは策定委員会に持ち帰らせていただいで、どういった形で、皆様にわかりやすい形でこの複雑な制度を理解いただくかを今後検討したいと考えている。	
29	日本共産党武蔵野市議団	しばみのる	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉	基本施策4 誰もが地域でいきいきと輝けるステージづくり	介護人材の育成	【渡邊委員】現在、介護人材への報酬は増やすが、特養を中心に下がるという改訂素案が出されている状態である。恐らく今後の伸び率は下がっていくことが想定される。全く御指摘のとおりで、人材づくりの中で労働環境の悪化、あるいはここの中で動きにくい環境というのは非常に大きな問題だと思っている。その上で、なかなか自治体だけでどこまでできるかという非常に難しい問題があることも御承知いただきたい。職場環境であるとか、あるいは潜在人材をどのように育成するのか、どのように活用するのか、新しい方々に入っていくことができるような人材育成の仕組みづくりなど、やれる限りのことを検討させていただき、議論しながら計画にも書き込めればと思っている。 【籠委員】自助・共助ということで人材育成についてだが、人材を多様に組み合わせるといふ観点も必要ではないかと思っている。専門職の人材の育成をするのと併せて、人の役に立ちたいと思っているボランティア精神も豊富な市民の方をもっとつなぎ合わせていって、専門職の方が専門職としての知見、ノウハウを提供し、ボランティアの方々が周りを支えるような多様な人材配置の組み合わせということも考えられるのではないかと、何かを大きくするというよりも、多様な力を使って自助・共助を行政側が指導して福祉のところを担っていくという手もあると思ふ。 【松本副委員長】今の論点は、人材育成ということの中に何点か入っていて、1つは人材の確保、もう一つは資質向上、もう一つはそれを整えていくための労働環境、この3つが入っていると思われる。仕事が福祉の関連のため申し上げますと、今、福祉をやりたいという高校生は激減していて全国的にも非常に危機的な状況である。これをどうしていくのかということ考えなくてはならないということの課題が1点、もう一つは、市民の力を引き出し、それを高めたい、さらにはそれを必要なところへ届けていくつなぎのシステムをどうつくるかということも思う。個人的には、武蔵野市は福祉の会なども充実してやってきているので、今後ますますそのあたりというの力を入れて取り組むべき課題かなというふうにも認識をしている。	
30	日本共産党武蔵野市議団	しばみのる	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉	基本施策5 住み慣れた地域での生活を継続するための基盤整備	福祉施設について	【夏目委員長】全体像として、やはり先ほどの財政の状況もあるので、今から市でどんどん新しいものを建てていくという状況にはないと私は思う。と同時に、ご指摘の問題は非常に重要な課題である。くぬぎ園に関して言えば、東京都との連携が必要である。そのように大きな自治体との連携等、連携できる場所はうまく連携しながら施設を運営していける方向性ができればと思っている。	
31	市民の党	山本ひとみ	IV 人口推計・財政見直し	2. 財政見直し	(2) 財政見直し	財政見直しの具体的な金額について	【夏目委員長】まだこの段階で数字の部分は、積み上げた額をお示ししていないが、計画段階では一定の積み上げた額をお出しできるような方向性で考えている。 【堀井委員】財政見直しについては、この計画策定内に極力、実数字に近いようなものをお出ししたいと思っているが、事務方のほうでそれは現在検討中である。公共施設等については、公共施設等の総合管理計画の策定が一定仕事になっているので、今の中で、建物だけではなくインフラも含めたものの管理計画を作ると、費用を算出しているところである。今後は市の財政を見ながら、公共施設にこれだけかかるから財政運営をどうやっていくかという側面と、色々な経費がかかる中でどの程度を公共施設やインフラに費用を回していけるのかという側面、この両面から検討を進めていく必要があると考える。	
32	市民の党	山本ひとみ				4年前と比較しての変化	【夏目委員長】桜堤地域の開発で若い世帯が急激にふえて、保育所持機児童等、深刻な問題が起こっているということが認識されると思う。また、オリンピック・パラリンピックへの対応や、国際的な状況等の変化等も非常に大きな問題として、今後検討の俎上へののってくとと思われる。	
33	市民の党	山本ひとみ	I はじめに	2. 討議要綱について		討議要綱の記載対象	【夏目委員長】外郭環状線のように都との打ち合わせが十分必要なものであるとか、児童館も、利用者との関係性、また、我々策定委員会としても児童館の所管部署と情報を共有しきれていない部分があるので、現状では策定委員会の席では議論の俎上にはのっていないということになる。そういった部分については、各々の課題の議論の進捗を待つこととして、討議要綱には載せない、という方向性で考えている。	

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
34	市民の党	山本ひとみ	Ⅳ 人口推計・財政見直し	2. 財政見直し	(2) 財政見直し	財政見通しの具体的な金額について	第五期長期計画の議論の中で、20年間で1,600億円かかるということは、重大な財政計画の前提条件だった。そのための予算として基金は400億円要するという話があった。積み立ての甲斐あって今かなり400億円に基金は近づいてきているが、今後この基金の積み立てスピードというのを落とさずもやっつけていけるのかどうか、こういうことを考える上で、やはり最低限の状況は示していただきたい。討議要綱に關しても、前提条件がはっきりしない中で、平成30年代後半は厳しい財政状況になることが見込まれると言いつられても、説得力に欠けると思う。	【堀井委員】討議要綱は既に本日お示しをしているもののため、ここに今から財政の細かい見通しを記入するということはありません。調整計画を策定する段階で可能な限り詳細な積算の根拠等をお示しいたがうに思っている。
35	市民の党	山本ひとみ	I はじめに	2. 討議要綱について		討議要綱と計画案	討議要綱では、今議論が進行中のものは書かない、では計画案ではそれは書くのか、そこはどうか。外環道路の問題も、市がやっている事業ではないにしろ、非常に大きな環境面等での影響が市にもある。また、児童館の問題は、長期計画の中で、将来的に0123施設化を図るとうふう書き込んでいたところ、人口が増えて事情が変わってきた。それに対応した施設の拡充の必要性がある中で、書き込む必要がないとは言えないと思うが、どうか。	【夏目委員長】外環の話については、東京都の意向も踏まえながら、当然配慮をしていかなければいけないと思っている。児童館の問題については、所管部署における議論もある中で、スケジュール的に策定委員会の会議の席上でフォーマルな形で決まってくる段階に至っていなかったということだと考える。今行っている圏域別の意見交換会であるとか、今日のまさに全員協議会の中で議員さんからの御意見ということで聞けば、それが議事録に乗り、策定委員会における議論の対象になると思うので、今後はそのような形に進めていくことになる。ただし、この段階で私の立場から、これをこうするとかいう決定事項について申し上げることはできない。あくまで委員会の議論の俎上にのせて、委員会の会議決定に委ねると、そういうことになる。
36	市民の党	山本ひとみ				子育て支援策について	人口増と子どもの数の増加に関しては、これこそ調整計画で議論すべき事項だと思う。児童館機能の存続と全学的な拡充について、また、子どもの増加に伴う子育て関連施設の整備等、子育て支援策への重点化についてをぜひ策定委員会で十分に議論していただきたいと思うが、この意見に関して、関連の分野で御発言されていた委員さんがいらしたら、御意見を伺いたい。	【松本副委員長】私見として述べさせていただく。武蔵野市内で子どもをめぐる環境が変わったのは、西部地区の子どもの数の増加、これはもちろん大事な課題であり、また保育園の数を増やす、増やさないの議論もとても大事だが、その裏に隠れている子どもあるいは子どもを育てている家庭が抱えている問題、ここは武蔵野市に何があるのかというのが、私には見えてこない。虐待の問題や子どもの貧困問題、ヤングケアラーの問題、色々な問題があるが、私の耳にも策定委員会にも入ってきていない。児童館に関しても、子どもあるいは子どもを養育している家族が抱えている問題と、児童館の機能を一体どういうふうにつなげていくのか、という点に大変関心を持っている。今まで持ってきた児童館の機能だけでは、これからはやれないとなったときに、これから、武蔵野市の中で何が必要なのかという議論、それをどう展開していくのかという議論、ここに私は関心があり、その視点から考えていきたいと思っている。【本田委員】子育て支援は本当にもう投資として考えて、重点的にやってほしいなと思っている。高齢化が心配なときにこそ、子育て支援策を充実して若い世代を呼び込んで、持続可能なまちづくり、市政を、市のつくり方をしつてほしいと思う。
37	市議会市民クラブ	土屋美恵子	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉	基本施策1 支え合いの気持ちをつむぐ	共助の仕組み	テンミリオンハウス事業、レモンキャブ事業、地域の共助の仕組みということが記載されているが、これは今後とも重要な支え合いだということの認識の上に、あえてここに記載したのかということを確認したい。また、高齢者施策に係る事業のみが掲げられていたが、子育て系では、市民グループとしてきちんとした子育て支援の団体ができており、その辺の協働に関する具体的な考え方について、もっと幅広く考えているのか、どういった方を対象として策定委員は今後、地域の連携や地域市民活動を行って欲しいと考えているかを伺いたい。	【渡邊委員】大前提としては、討議要綱に記載にあるように、誰もが地域を支えるということ、全ての人を対象にしている。ただし、現実問題として、共助に関わっていただくメンバーゲットになるのは、退職をされた、あるいは子育てを終えられた高齢者の方が中心になるだろうと考えている。高齢者は十分活躍してほしいが、それ以外の方を排除することを意図しているわけではないという意図で、このように記載している。
38	市議会市民クラブ	土屋美恵子	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉	基本施策4 誰もが地域でいきいきと輝けるステージづくり	介護・子育て人材の確保	介護・看護人材の確保のところで、今はダブルケアという時代になってきたということで、介護と、それから子育てが一緒になっているというような状況もある。保育の人材の確保についても問題になってきている、それはこの中にも入れないのかどうか、あえて入れないのか、どういった視点でそうしているのかをお聞きしたい。また人材の確保に絡んで、保育士の養成に関し、自治体として保育士養成に向けた講座であるとか、何らかの制度を少し進めていくという記載があつてほしいなというふう思っているが、その辺のところはいかがか。	【渡邊委員】保育人材の確保については、まだ議論があまりできていないところを感じているので、次の検討課題として考えていきたい。ただ、一応ここではメンが、後期高齢者が増えるということで介護・看護の為の人材を想定していたためこのような書きぶりになっている。
39	市議会市民クラブ	土屋美恵子	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉	基本施策5 住み慣れた地域での生活を継続するための基盤整備	子育て支援系を含めた施設の複合化	くぬぎ園の跡地利用について、西部地域のほうでは子育て系が足りないということも言われているので、ここでなぜあえて高齢者と障害者の複合施設だけを視野に入れているのか。今は多様な世代が一緒に過ごせる場というのも求められていると思うが、子育て系という視点がなぜここに記載されていないのか。	【渡邊委員】くぬぎ園の転用に関しては、まず第一に、貴重な意見をいただけたと思う。ただ、今回の提案の中では、医療系サービスを核としたという形になっており、この場合、いわゆる育児系サービスを複合型でいけるのかという点については、難しい問題があると思う。医療サービスを核とする中に保育系のもを入れることができるのかどうかといったことは、私自身も検討したいと思うし、土地の持ち主である都との相談等もあると思う。
40	市議会市民クラブ	土屋美恵子	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策2 地域社会全体の連携による子ども・子育て支援の充実	共助の仕組みづくり	共助の仕組みづくりの中に、来所型施策だけではなく訪問型施策も含めていくという記載があるのはすごく心強いと思っているが、今、市では子ども家庭支援センターを中心としてやっており、そことの関連性についてはいかがか。ソーシャルワーク的な部分と、共助部分、来所型、それから訪問型、その辺の関連性や連携の仕組みをしっかりと入れていただきたいと思っている。	【松本副委員長】なかなか自分から相談に來られない人もいる、いろいろな方々がいる中、アウトリーチの姿勢でやっていくということは非常に重要だと思っている。武蔵野市は、大変色々な機関や人々が関わって子育て支援のネットワークを作っている。今回は専門的な機関だけではなく、子育てをしている御家族自身も共助の中に入って行くという書き込みをしている。同じ問題を共有している者、ピア、つまり仲間同士が支え合える力というのは非常に強く、効果も高いのでこのあたりも共助の中に入れていく方向で考えている。武蔵野市には保育カウンセラーがいるが、さらに保育ソーシャルワークの機能を入れていけるとよりよいと思っている。社会福祉士の中でも子どもや教育を専門とする人がいるので、そういう方々の力も借りながらやっていくことが大事である。

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
41	市議会市民クラブ	土屋 美恵子	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策4 子ども・子育て家庭を支援する体制・施設の整備	子ども協議会	子ども自身の意見を反映する機会として「子ども協議会(仮称)」を設置するという記述があるが、これは策定委員会の中でどういってお話があって、こうなったのかを聞かせていただきたい。学校生活の中等、いろいろな場で子ども自身の意見を発表する、話し合うということがまだまだ過渡期にあると私は見ているが、そこを飛び越えて子ども協議会の話が出てきたように私自身捉えたのでその辺のところを具体的に伺いたい。	【松本副委員長】子ども協議会はあくまで仮称だが、子どもの意見をきちんと吸い上げていくための仕組みと考えている。ただ思ったことを言うだけの場ではなく、どういった意見の吸い上げ方や協議の仕方をしていくのかというのは、枠組みをきちんと丁寧に作っていくことが必要と思う。
42	市議会市民クラブ	土屋 美恵子	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策4 子ども・子育て家庭を支援する体制・施設の整備	子ども協議会	支援施設の整備の中に、改築・改修計画ということが書かれているが、先ほど来、話の出ている待機児対策、それから人口増を考えると、武蔵野市は一体幾つ保育園を作るのか、という量の見込みが書かれていないので、その辺はどこに記載していくのか。	【松本副委員長】子育て支援サービスの量の見込みについてはまずどれぐらいの量が必要なのかという子ども、子育てしている家庭が抱えている問題、現状と、さらには、鳥瞰的に見て、他のところとのバランスを取りながら、どれぐらい作れるのかというような、財政的な問題も当然あると思うので、丁寧に検討しながら見込みをつくっていきたいというのが、私個人の意見である。
43	市議会市民クラブ	土屋 美恵子	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策5 次代を担う力をはぐくむ学校教育	教育センター	教育センター構想の推進の中に書かれている教育センターと庁舎内にある教育センターとの関わりはどの位置づけるのか。既にあるものにもかかわらず、何故ここに取ってまた書いたのかということをお聞かせください。	【松本副委員長】教育センターの機能はもう絶対に必要と考える。ただ単にセンターをつくれればいいという話ではなく、センターにどういう機能を持たせて、どう回していくのかということも含めて、きちんと丁寧な議論を行っていく必要がある。【五十嵐委員】今やろうとしている庁舎内での教育センターの機能が、「教育推進室」であって、これまでも退職校長さんの方等を借りてやってきてはいるが、その辺りでは、庁舎の中で場所を作って支援していくということを進めている。学校施設の改築等に合わせた構想を考えている教育センターについては、もう少し幅も広い、全面的なことと考えており、今庁舎の中に作るようしているものと新たに別個、同じようなものを作るということではない。
44	民主生活者ネット	蔵野 恵美子	I はじめに	2. 討議要綱について		討議要綱の記載対象	「長期計画策定時より事業が定常化したもの、現在個別計画や主要事業として課題解決のために議論が進行中のものについては、計画策定の対象となるもの、討議要綱の記載対象とはしないこととした」という記述について、これは具体的にどのような事業を指しているのかを教えてください。そして今回の討議要綱に記載されなかったものに関しては、今後どのような経過で検証されて計画の方に掲載されていくのかということをお聞かせください。	【夏目委員長】事業として定常化したもので、もう既に十分な実施が行われているものはここでは外すということが、まず1つである。もう一つは、進行中のもの、先ほど児童館や外環の話が出たが、現在議論がまだ進行中のものについては、そちらでの議論の結果もあるので、この討議要綱の段階では載せないということである。ただし、ここ最近行われている市民向けの会議や今日の議員さんの御意見等が、フォーマルな場の上にあるための機会であるので、この場において問題が出てくれば、それが今後策定委員会における議論の対象となると認識である。
45	民主生活者ネット	蔵野 恵美子	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉	基本施策4 誰もが地域でいきいきと輝けるステージづくり	介護人材の確保	介護の人材確保というのは、武蔵野市だけでなく、日本中の大きなテーマだと思っている。人材を育てても、その人材が地域に残ってくれるのが懸念だが、それに対する何か具体的な方策などについて記載があるといいのではないかと感じている。御意見あらば伺いたい。	【松本副委員長】介護人材の留保については、もはや国民的な課題であり、武蔵野市固有の課題ではないが、武蔵野市にとっても深刻な課題であることには違いない。実際にはこれをする、という議論までは、まだ至っていないが、介護人材を確保するだけではなく地域にきちんと根づいていただくために、逆に何故介護人材がすぐに辞めていくのかについての研究データとのすり合わせの中で、きちんとしたエビデンスに基づいた対策ができればと思っている。
46	民主生活者ネット	蔵野 恵美子	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策5 次代を担う力をはぐくむ学校教育	教育の方向性	今回この討議要綱を作るにあたって、今期の教育の大きな方向性について、どんな議論がなされて、今期を特徴づける教育のテーマがあったのかというのを聞かせていただきたい。討議要綱にはあえて外国語とICTの個別具体的なものが掲載されているが、何故これらが掲載されることになったのか。	【松本副委員長】これからの国際社会で生きていく中で、あるいは今、21世紀型の能力と言われて絶対的に必要とされているICT教育と英語教育を入れさせてほしい。もう1点は、やはり特別支援教育に関して、インクルーシブ教育、これをどう進めていくのかということも大事にした点である。子どもに対する教育は勿論のこと、共生という社会において、人格や人権、尊厳を守っていくということがどういうことかという人権教育も含めてきちんと考えていきたいという思いとして、記述させていただいた。
47	民主生活者ネット	蔵野 恵美子	V 分野別の課題と方向性	3. 今後の策定の流れ	基本施策7 災害への備えの拡充	災害時における役割分担	市民意識調査の結果によれば、市民の皆さんが一番興味を持たれているのは災害対策とあるが、その割には討議要綱の中で災害に関する項目についての記載が少ないと思う。もう少し具体性を持って、方向性的なものを打ち出していきたいと思う。防災における地域の役割と、行政の役割というものが、多分まだ明確でない。役割分担の方向性をある程度明確にしていってほしいと、逆に市民の方も要らぬ不安を招く可能性もある。その点に関して御意見あれば、伺いたい。	【夏目委員長】防災の問題も、災害弱者の問題等も、策定委員会が深刻な問題として受けとめている。防災に関しては、さまざまな分野において関連する横断の部分が相当程度出てくる。各分野で関連するという話は策定委員会でも常に出ており、それをどうするかということが一つの大きな課題にもなっている。という形で地域の連携づくりができるかということが大きな課題ではないかと考える。
48	民主生活者ネット	蔵野 恵美子	V 分野別の課題と方向性	6 行・財政	基本施策4 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	歳入を増やす取組	武蔵野市は豊かであるが故に、歳入を増やす努力というようなもの、そこをどんと打ち出すのが弱いかなと思っている。今後は、時代の流れとして、もうちょっとその部分を打ち出した方がいいのではないかと考えているが、その点いかがか。	【夏目委員長】私の専門も企業会計のため、歳入と歳出のバランスというのを非常に考えるところがある。これからは企業会計の仕組みを、全てではないにしても、行政の中に取り込んでいくという方向性が出てくることになると思うが、かなり広範で難しい課題もあるのだから、専門的なことも含めて、歳入と歳出のバランスに関する検討を進めていく必要があると認識している。
49	むさしの無所属クラブ	前田 秀樹	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策5 地域の特性を活かした産業の振興	吉祥寺の商業について	吉祥寺の商業について申し上げると、今まであった吉祥寺らしい文化がなくなってきたと思う。空いたところにはチェーン店が進出し、だんだん吉祥寺の商業の魅力が失われていくような気がしている。また、吉祥寺は地価が高いため、商売するよりも買ったほうがお金になるということで新しい人間が入ってきにくい、商業を始めにくいまちなっているのも、もっと新しい人たちの起業支援について書き込んでいただきたい。それについてどう考えているかお聞きしたい。	【夏目委員長】いわゆるアントレプレナー、あるいはアントレプレナーを育てるインキュベーション、そういったようなものをもっと、ということは考えてはいるが、今後議論の俎上に乗ってほしいと思っている。【本田委員】商店街の活性化については、策定委員会の前の市民会議でも、大型チェーン店ばかりになっていく商店街について非常に危機があるという意見が出ていたので、その点は策定委員会の中でも話し合った。

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
50	むさしの無所属クラブ	前田 秀樹	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策5 地域の特性を活かした産業の振興	商店会の法人化について	商店街の連携や統合、法人化とあるが、連携や統合というのは確かに必要だと思うが、法人化についてはメリットが果たしてあるのかと考えているので、あえて法人化を促すことに関してどういったお考えかを教えていただきたい。	【五十嵐委員】国の方でもいろいろな支援策をつくるときに、やはり一定の枠で法人化されたものについて優先的に助成していくような流れはあると思っている。法人化それ自体が目的ではなく、組織を強化してもらうことこそが狙いで、安定的に会員さんたちが自分たちで支えていくような、きちんとした組織化をすることが商店会にとって目指すべき方向なのではないかという趣旨でこのように記載した。
51	むさしの無所属クラブ	前田 秀樹	V 分野別の課題と方向性	6 行・財政	基本施策4 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	未利用地の活用	市の所有地が吉祥寺の中にもあって、そこがまだ活用されていないところがあるが、その活用などは計画に書き込んで、新しく、活力ある若い人を進出させるような手立てはないかと考えているが、いかがか。	【夏目委員長】未利用地は飛び石も含めてあちこちにあるようで、ただ、行政として一定程度のストックを持っていないといけない部分もあると思う。しかしまちの中で違和感のある飛び地のようなものは、まち全体をつくるまちづくりの視点の中で有効利用するというのは、考えの中に入っている。
52	むさしの無所属クラブ	前田 秀樹	V 分野別の課題と方向性	5 都市基盤	基本施策7 三駅周辺まちづくりの推進	吉祥寺駅南口開発と公会堂	公会堂は50年たっていて、使い勝手も悪いし、老朽化も進んでいて危ないので、あの土地を使ってもっと有効活用が可能なものを作れないかという期待もある。討議要綱の記載では、南口の再開発を含めて、あわせて考えていく、検討していくとなっているが、並行して考えていくとどちらも進まなかったりするのではないかという心配もある。あわせて考えるというよりも、個別に、それぞれのことを考えながら進めていく形をとったほうがわかりやすいのではないかとと思うが、いかがか。	【夏目委員長】公会堂にはエレベーターもなく、バリアフリーの観点から問題もあり、結構早急な課題だと私は思っている。吉祥寺の南口に関しては、地権者と、あるいは所有権とのぶつかり合いが相当な難問だと思うので、この辺のところも同時だとしても動かないのではないかと考える。 【堀井委員】公会堂だけをその場で建てかえとなると、単に文化施設の建てかえということになり、吉祥寺南口の持っている課題をなかなか全体的に解決できないことになる。できるならば公会堂の建てかえを含めて、そこにある市有地を活用して、現在の南口の、とりわけ交通問題を解決できればと思っている。南口は現在市の方で懸命に買収しているけれども、そのことだけで全て解決するという訳でもない。公会堂の用地をうまく転用する、あるいは他の開発、民間の事業の開発と合わせてやり抜くことで、南口全体の問題が解決できるような方策を一番に今考えている。 【井出委員】あの吉祥寺の地価の高いところに公会堂という市の施設が残っているというのは、ある意味再開発事業としては非常に重要なキーポイントになるというふうになっている。もし公会堂をあそこに現状の機能のまま建てかえてしまうと、市が抱えているいろいろな問題に柔軟に対応することが逆にできなくなり、後々非常に禍根を残すのではないかと私自身は思っている。ぜひ皆さんにいろいろ満足していただけるような新しい使い方、民間事業者のアイデアと資金力を生かしてやるべきだと感じているので、そこは皆さんに御理解いただけるよう十分説明していきたいと思う。
53	むさしの無所属クラブ	前田 秀樹	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活		オリンピックを通じた市の施策	オリンピック・パラリンピックのことについて、先ほど来話も出ているが、他市の人から武蔵野市はオリンピックにどういうふうに参加、協力していくのかというような話も聞いて、武蔵野市には陸上競技場もあるし、その活用を含めたオリンピックとあわせた施策というものもいろいろ考えていらっしゃるかどうか、その辺をお聞きしたい。	【夏目委員長】都の広報を見ると、オリンピックパラリンピックについて、東京都はほとんど動いている。しかし市のレベルにおいては、東京都が遠慮しているのか、あるいはこちらがアクションがないのかはわからないが、そうでもない。都と一定の連携をすれば近い話になってくるし、策定期間中に調整計画の中に織り込まなければいけない問題にもなってくる。 【五十嵐委員】国や都からの情報がなかなか、来るようで十分でない部分もある。本当に貴重な機会なので、スポーツの振興、あるいは観光振興、いろいろな側面から進めていきたいと思います。
54	むさしの無所属クラブ	前田 秀樹	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉		障害者の高齢化	障害者が、親も子どもも、だんだん高齢化が進んで来て、親は自分たちが亡くなった後、子どもがどうなるのか。また、障害を持った方たちは、自分が年をとるとどうなるのか、大変不安に感じている。成年後見制度などもあるが、障害者の高齢化が進むことに対する施策や方向性等があったら御説明願いたい。	【渡邊委員】全く御指摘のとおりで、障害者の方の高齢化というのは非常に進んでいるが、さまざまなパターンがあり、つまり二重三重の問題が出てくる。恐らくこの問題は、1つの制度で対応するというよりは、制度を複合的に活用するような仕組みというものをつくっていくべきだというふう考えている。例えば、地域包括ケアは介護保険の枠組みだが、障害者の問題について考える場合でも十二分に転用可能である。勿論すぐに転用できるとは限らないが、発想そのものは使えるものなので、いろいろ研究等を進めながら、やれる部分はやっていけるというふうな形で、検討していきたいと思う。また、障害の問題は、ケアをする側の方の問題とも直結するので、障害者だけではなく、障害者と一緒で過ごす家族の問題というふうな形での認識も踏まえて議論できればと思っている。
55	市議会市民クラブ	桑津 昇太郎	V 分野別の課題と方向性	6 行・財政	基本施策5 社会の変化に対応していく行財政運営	経営の視点	持続あるまちづくりをこれから武蔵野市として図っていく上でも、行財政視点からの取り組みというのは非常に大切なことだと思っていて、とりわけマネジメントに今後行政としてもっと力を入れていかなければいけないと思っている。そこで経営の視点を書き込んでいきたいと思います。今後そんなに歳入も伸びないというようなことを鑑みれば、やはりその比率ということについても、どこに投資、集中と選択ということの考えは絶対必要だと思う。従って運営という言葉ではなく、経営という言葉をもっと書き込んでいきたいと思います。その辺についてどのようにお考えをお伺いしたい。	【夏目委員長】おっしゃるとおりだと思う。今後の歳入のめどを考えると、今までと違うやり方をしない限りはもたないというのがシミュレーション上の認識である。例えばであるが、ゼロベース・バジェットングの理念を持っていくという位、根本的なところを考えておかないと、今後の行政の営みは難しい。今後の投資に関しては、企業会計の収益性のようなものも予算シミュレーションの中に一定組み込んでいくような仕組みもいずれば考えなければならぬと思っている。歳出が超過し、債務が増えることは結局次世代に問題を先送りするだけであり、今現役世代が楽をすれば、次世代は圧迫されるわけであるから、その辺のところをどう議論の俎上にのせていったらいいかが実に悩ましいところである。

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
56	市議会市民クラブ	桑津昇太郎	V 分野別の課題と方向性	5 都市基盤	基本施策7 三駅周辺まちづくりの推進	吉祥寺駅南口開発と公会堂	南口の交通広場の取り組みというのは、もう20数年やっているが、やっと土地の買収が70%、進んできたところである。正直言って20年やってまだこまでしか進んでいないという見方もある。そこで東京オリンピックもあるこの契機に、もう少し大きく踏み込んだ取り組みをやっていかないと、全然進まないと思う。色々必要とされている大事な機能はある。公会堂にどういう機能を持たせるのか、もっとしっかりと考え方を具体的に書き込んでもらいたい。それについての議論を策定委員会の会議の中でやっていただけたらと思う。	【夏目委員長】公会堂を建てかえる中で、例えばプレイスのような多機能施設としての利用が促進されるのであれば大変結構なことだとは思いますが、恐らくプレイスをまとめるためにも相当程度議論があったのだと思う、吉祥寺で20数年かかっているのも恐らく同様と考える。 【井出委員】まちづくりに関しては、ある段階まで民間事業者含めて皆さんから色々な案を出していただいて、複数のプランが出たところさらに突っ込んでというふうにはいかない、いきなりこのプランでいきます、としてしまうと話がまとまるものも全くまとまらなくなってしま部分もある。なので討議要綱や調整計画の段階であまり具体的に書き込み過ぎてしまうと、逆にそれで、こんなはずじゃなかったという御意見もたくさん出てきてしまうということ、あえて慎重であるべきで、しかし水面下でしっかりと複数のプロジェクトを比較しつつ、オープンな議論ができるようにやっていただけると思っています。策定委員会の中でも議論したいと思う。
57	市議会市民クラブ	桑津昇太郎	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策6 都市・国際交流の推進	今後の交流の在り方	交流について討議要綱に項目はあるが、大変中身が薄いと感じている。武蔵野市はたくさん交流を行っている。今後そういった交流についてどうするかという岐路にもあるので、交流についての書き込みを、もう少し議論を深めていただければなと思っている。例えば、ハバロフスクからもっと多面的にやっていきたいという向うの希望もあったりする。若い人たちがそういう貴重な体験、経験を積むということは、将来にとってすばらしい貴重な財産になり得ると思っているので、是非そういった取り組みについて議論をしていただきたい。その点についてはいかがか。	【夏目委員長】日本は留学生を取ることに一生懸命だが、それも勿論大切ではあるが、一方自分の国の国民に外国体験をさせることについては遅れているように私自身、常々思っている。しかし、武蔵野市はMIAもあり、交流を定例的に行うことに少し安心感があったため、書き込みもそこまで多くはないと考えるが、今御意見をいただいたので今後議論の俎上にのせていきたいと思う。
58	市議会市民クラブ	桑津昇太郎	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策4 市民の多様な学びやスポーツ活動への支援	陸上競技場の再整備とスポーツの発信	スポーツ施設の再整備に陸上競技場についても書き加えていただきたいと思っている。武蔵野市と言う都心の内部で、こんな立派なスポーツ施設があるというのは希有な例で、都市観光などに結びつけるにもすごくいい施設である。そのような施設についてももう少ししっかりと、オリンピックと言う契機に手を入れることで是非とも議論していただきたい、多摩地区のスポーツの発信を武蔵野市からしっかりとやっていただきたい。ひいては国際的なアスリートなどに来ていただいて、子どもたちに大きな夢を与えるであるとか、そのようなことも可能な場にしてほしい思いを強く持っているの、そういったところも計画に書き込んで欲しいが、いかがか。	【夏目委員長】意を強くして、オリンピック、これもかなり横断の部分があると思うが、重要な検討課題としてのせていきたいと思う。
59	市議会公明党	落合勝利				コミュニティの課題に対する認知度	コミュニティの課題はどの分野にとってみても本当に大きな課題であるというふうには私自身も認識しているが、支え合いという部分において、市民同士のつながりをこれから進めていかなければいけないという課題があるかと思っている。その中で、市民の中でコミュニティの課題に対する認知度や理解度が、まだまだ成熟していない、そもそも課題としてそこまで認識をされていない部分もあるのではないかと感じている。これを今後どういう形で進めていくのかということについて、どんなお考えをされているかということをお聞きしたい。	【渡邊委員】コミュニティの課題について、市民の中での理解度がまだまだではないのかという点は、御指摘のとおりかと思う。今若干、政策的には、支え合いのためにコミュニティを作れというふうな形になっているが、本来コミュニティは、何か人々がつながっているから支え合いが起きるというもので、ここにコミュニティは、急ぎ過ぎないという点が重要なかなと思っている。例えば介護分野における地域包括ケアのようなききかけ等を使いながら、コミュニティのつながりというもの支え合いにも非常に役に立つのだという理解をさまざまな分野で進めていくことが重要なかなと思っている。全ての分野に関わるということ、それぞれの取り組みをどううまくコーディネートするかが問われていると思う。
60	市議会公明党	落合勝利				地域フォーラム	地域フォーラムという一つの提案がコミュニティの検討委員会の中で出されたことと認識している。これが実現していくとすばらしい結果が出るのではないのかなというふうには思っているが、その中で一つの大きな課題として、さまざまな団体がある。1人の人が複数の団体に参加しているという側面があって、今日はどの人がどの立場で来ているのか、こういった部分にどう整理をつけていくか。また、フォーラムに参加したけれどもできない状況にある人もある。その部分をどう考えられているのか、そして、区域の統合という部分について、学校区や、消防団のエリア等さまざまな区域があって、それが上手くかみ合っていく中で、また新しいコミュニティという発想にも展開されていくのかというふうには思うが、それはなかなか難しいようにも感じる。その整合性はどうかというふうにつけていくのか。その辺の課題についてのお考えをお聞かせいただきたい。	1人が複数の団体を兼ねるのが普通だが、武蔵野市はむしろ逆にそうならないところも結構ある。地域フォーラムは、むしろ1人が複数の団体を兼ねていないからこそ逆に連携がとれていない、情報も共有できていないという点に関して、具体的にコミュニティ協議会等をベースにしなが、さまざまな方に関わっていただくという点を考えている。ここで重要なのは、今回行政を書き加えているという点である。これまで、行政は、コミュニティには自治3原則があるので関わってはいけないとなっていたが、むしろ逆に地域から、この問題は行政に考えてほしいということも言えるようにするいう点もある。参加したいけれどもうまくいかないという人は意外に多く、その方々にきっかけをつくっていくという点は重要である。 区域の統合については策定委員会ではまだそこまで話し合っていないが、私が参加していた地域コミュニティを作る委員会の方では、さんざん議論して、非常に難しいということがわかっている。これは私見だが、複合的な地域も中にはあるが、せめて、どの地域に住んだら、とりあえず近くのコミセンはここですよということが言えるぐらいの体制づくりまでは持っていないと感じている。統合というのは、恐らく、歴史的経緯等もあるもので、すぐに進めるというよりは、ゆっくり理解をしていただきながら進めていく必要があると考えている。

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
61	市議会公明党	落合 勝利	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉	基本施策3 誰もがいつまでの健康な生活を送るための健康づくりの推進	健康寿命の延伸について	健康維持について、病気にならないための予防策というのは、これから非常に大事と思うが、討議要綱に書かれている効果的な施策というものについては、どのような想定がされているのかというのが1つ疑問にあったのでお答えいただきたい。	【渡邊委員】健康維持、介護予防とも言うが、これは御指摘のとおり非常に重要である。ただ、何でもかんでも介護予防できるとは限らないので、効果的にやるためにはやはりエビデンスのきちんともあるものを導入していく必要があるという点はまず第一にしっかりと理解して、政策を考えていったほうが良いだろうという点は、まず指摘できると思っている。 実は高齢者の社会参加は私の一番の専門であり、これは健康維持に非常に役に立つということがわかっている。就労等も含めて、活動する場を作っていくこと、あるいは文化、スポーツ活動等に積極的に参加していただくことは健康維持に実は一番つながるものである。健康維持のためのプログラムと社会参加のためのプログラムを分けるというよりは、それは一体として考えていくことが重要と思っている。その意図で討議要綱には書き込みをしている。新しい施策としては、個別の検討が進んでいる計画等と整合性を考えつつ、より効果的な仕組みができるよう下支えをするのが長期計画・調整計画の役割なのかなというふう考えている。
62	市議会公明党	落合 勝利	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉	基本施策4 誰もが地域でいきいきと輝けるステージづくり	高齢者の地域活動への参加の在り方	高齢者の地域活動への参加も、健康維持という観点から必要と考えるが、それは今進めているような既存の事業を継続しつつ、新しい展開をしていくことが必要なのか、それとも再編をしながらやることが必要なのか、その辺の考えはどうか。もし再編ということになると、高齢の方々にとって、また一からというのは結構なハードルになっているという声も聞くのでその部分についてのお考えをお聞かせいただきたい。	【渡邊委員】再編に関しては、個別に皆さんが取り組まれていることを無理に体系化するよりは、行政は、色々な場所で皆さんが行っているさまざまな取り組みをネットワークできるようなことを情報共有してお伝えするとか、そういったことをやって、色々な人々の活動をつないであげようという仕組みを提供していくことが恐らく現実的な役割なのではないかと私見であるが、考えている。
63	市議会公明党	落合 勝利	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策7 災害への備えの拡充	災害時の情報発信	災害の備えということで、災害時における情報の重要性、個人が自分が置かれている状況を把握することが大切なのはそれとおとりと思うが、この記述で「高齢者、障害者及び外国人等も自ら情報を発信できるように…」とあるが、どういった考えのもとでこういう記述になったのかということを確認したい。それぞれの立場で発信ができるということになると、いわゆる情報が混乱しないのかという懸念がある。被災した人たちがどう風情報を受発信をする想定しているのか。	【堀井委員】これは、新しい機器があって、その機械を使えばできるという話ではなく、被災者からも自分がこういう状況にあるということを発信できるようなシステムを作る必要があるのではないかと問題意識である。その手段として何をを使うかという問題ではなく、被災者側からいろいろな情報を、単に受け手ではなく、自分や家族、近所の状態を発信できる、そういうことを検討すべきではないかという意味での記述で、今段階で具体的な手法までは出ていない。
64	市議会公明党	落合 勝利	V 分野別の課題と方向性	6 行・財政	基本施策5 社会の変化に対応していく行財政運営	ICT化とセキュリティ	ICT化が幾つかのところで出てきているが、情報セキュリティの強化という部分についてはもう少しきちんと記述した方がいいのではないかと印象を受けた。ヒューマンエラーがどうしても発生してしまうという現状を、ゼロに向かっていくためにはどうしていくべきなのか。その部分をもう少しセキュリティの強化ということであつてもよかったのではないかとと思うが、その辺の御見解をいただきたい。	【夏目委員長】ICTの利用が、今後ますます増えてくることが見込まれるが、それに伴うセキュリティの問題は非常に重要な課題なので、ヒューマンエラーを含めて、自治体としてどう問題が起こり得るかということは今後十分詰めていかなければならない課題だというふう十分認識している。

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
65	市民の党	斉藤 シンイチ				分野ごとの核となる考え方について	健康・福祉から行・財政まで各施策6分野を担当された方それぞれに、今回の調整計画での核となるもの、理念や考え方で1点、主だったものとして、どういうところが考えられるかを教えて欲しい。	<p>【渡邊委員】健康・福祉分野において、最も重要なのは、これは五長の調整計画なので、五長で出した地域リハビリテーションの概念、これを引き継ぐということを前提にしている。地域リハビリテーションは、介護保険制度での地域包括ケアシステムの概念も入っているが、もっと広い概念で、色々な立場の人がさまざまな社会参加等も含めた地域づくりを進めていくというものになる。これが健康・福祉において非常に重要であり、これがないと恐らく今後立ち行かないであろうと想定している。そのことを踏まえて、共助の仕組みを生かした健康・福祉というものを考えていきたいと思っている。とはいえ共助ですべてはまかなえないので、公助、共助、それぞれの制度をどううまく組み合わせていくのか、またその中に人々の文化的な生活を維持するという大きな目標を達成するか、そういったことを意識しながら検討を進めている。</p> <p>【松本副委員長】子ども・教育分野について、1つに限るのは困難だが、あえて1つ挙げるとすれば、水面下に潜んでいる子どもや家庭が直面している問題、ここに焦点を当てたいという願がある。なかなか議論の俎上に上ってこない、ひとり親の問題や虐待、ヤングケアラーについてなど。水面下にある問題の数はどれほどかということに関心、そして問題意識を持っている。</p> <p>【井出委員】緑・環境、都市基盤分野においては、ほかの分野もそうだと思うが、行政がこれをやりなさいという問題が解決するものではなくて、むしろ市民や、いろいろな市民プラスアルファの方々が活動していただくことによって、本当によい状態に持っていけると考えている。</p> <p>住民や、住民プラスアルファの人たちに積極的に情報を提供して、いかに関わっていただくか、市が何か施設を作ったらそれから先市民がどうやってその施設を愛し、日頃の生活の中に親しんでいただけるか、そういった提供をすることによって、市民に実際に主体的にやっていただくために、どんな書きぶりをしたいかということを特に注意した。</p> <p>【井原委員】市民委員から出たので専門分野があるわけではないが、何しろ市民の意見をいかに取り込んでいくかということ。特に長期計画や調整計画の作り方に関してそのような考えを持っている。</p> <p>【本田委員】私は子育て支援のことを重点に考えている。</p> <p>【夏目委員長】私は委員長という立場で全体を取りまとめるので、専門分野で参画はしていないが、あえて言えば、予算や企業会計が自分の専門なので、その視点から、行政のこれからの行財政改革の方向や、それを見据えながら、武蔵野が大事にしている武蔵野市方式という策定方式の方向づけについて、市民参加、職員参加、そして今日の議員さんの参加と、こういった話し合いがきちんとスムーズに進むかどうか、あるいはきちんとその吸収が成り立っていくかどうかを見つけていきたいと考えている。そのプロセスの中で、副委員長も声なき声をどういうふうにきちんと織り込んで、欠落した部分を補っているかということが、一つ目配りしてやりたいと思っている。そして全体の整合性はとって、なおかつ期限内に市長のところに届けることも考えている。</p>
66	市民の党	斉藤 シンイチ	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉		高齢者の孤立問題	閉じこもっていて、周りと関わる機会がない高齢者の方が増えている。高齢者の方から住居を含めて貧困や、生活の困難さについての声を聞くこともある。そういった方々をどう捉えていくかが地域課題として大きいというふうに感じているが、それに関してどのように考えているか、お聞かせいただきたい。	<p>【渡邊委員】ご質問の意図は、高齢者の社会的孤立や閉じこもりに近い問題、それから貧困等の理由で転居等が激しいことによつてつながり等がなくなり、あるいは生活の基盤が喪失しかねない状況があるということだと思う。高齢者の方にとつたアンケートの結果によれば、独居の場合、近所づきあいがいない方の割合は36%とかなり多い。この問題をどう解決するかは、これはやはり、これこそ多分地域じゃないということになると思う。これまでは、家族や親族が最後は何とかすると思われてたが、もう多分それも難しい現状にきている。プライバシー等の問題等もあるが、地域の中で関わりを作るきっかけを重層的に作るということが恐らく大事であると思う。ただ同時に、これは武蔵野市に限らず世界中で起きている問題なので、1つの解決ではないということも認識し、いろいろな方策をめぐらすことが大事かと思う。孤立等の問題は非常に重要なため、場合によっては策定委員会ですらに持ち帰って検討ができればと思う。</p>
67	市民の党	斉藤 シンイチ	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育		切れ目のない子育て支援	ゼロ歳から18歳までの包括的な子育て支援というのを、もうそろそろやらざるを得ないと思っている。他の自治体や、外国でも、家族のための切れ目のない支援を市民に見せるようにしているところもある。行政で実際は色々やっていて、それぞれ点があるが、それが市民に見える形の線になっていないので、市民が子育てにおいて不安になるところがある。ゼロ歳から18歳までの総合的な子育て支援というのをどう考えていくのか。また、若者という話で行くと、例えば就職が本当に困難だった人たちの就労実習というふうなもの等も必要な時期に来ていると思うが、その点ご意見をいただきたい。	<p>【松本副委員長】子どもの問題なので年齢で輪切りになったほうがいいものと、縦できちんとつながっていたほうがいいものと両方あるということも踏まえた上で、今御指摘いただいたゼロ歳から18歳までの包括的な支援体制ということも確かに必要だと思っている。相談窓口をどうしていくか、また、包括的に支援していくためのシステムをどうするかという問題、そして誰を担い手にしていくかという問題で、このあたりは子育ての専門家や行政だけではなく、やはり市民を含めた多様な担い手、多様な主体にいかにか力をいただきながら、つなぎながら展開していくのかということも含めて、少し持ち帰って考えるお時間をいただけたらと思う。若者、青少年の問題も本当に深刻だと認識しているため、今後の調整計画策定の中でもきちんと考えていきたい。</p>
68	市民の党	斉藤 シンイチ	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策5 次代を担う力をはぐくむ学校教育	インクルーシブ教育	インクルーシブ教育について、注釈の中で多様性の尊重という記述があったが、これには違いをきちんと認め合うというふうなところがしっかり土台にないといけないと感じている。ともに学ぶというところだけが先に走ってしまっているように思うので、多様に、のニュアンスに、違いを認め合うということを含めて考えていただきたいと思うが、いかがか	<p>【松本副委員長】全く同意見である。違いをきちんと認め合うというところをベースにして、きちんとした仕組みや理論に基づいて、学び合える、わかり合えるというようなことが達成できるプログラムがあって初めてインクルーシブ教育は成立すると思っている。</p>

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
69	市民の党	斉藤 シンイチ				当事者参画	子育て分野や、高齢の分野に関して特に、当事者参画、当事者参加というのを、具体的にどう考えていくか。これは社会不安の解消になっていくと自分は捉えている。そういう人たちが受け手だけではなくて、一緒に考えたり、作り手や担い手になることで、子育てをされる親御さんたちの課題や、高齢者の課題にすぐプラスになっていくと思うが、その部分はどう捉えているか。	【松本副委員長】全く同意見である。当事者参加を進めていくのを大原則にした上で、では具体的に、どういう場面で、どういう方々にどう当事者参加を促していくのかというところは、これからの議論の中で深めていけたらと思っている。
70	市民の党	斉藤 シンイチ				すべての人への情報の提供	認知症の方や知的障害の方、聴覚障害をお持ちの方、あるいは外国の方など、情報をうまくキャッチすることができない方に対していかに情報を渡していくかについて、どこかの場できちんと検討していただきたいと思う。	【渡邊委員】わかりやすい情報提供、という形の表現が討議要綱の中にあっただが、そのわかりやすさにもう少し、今の御指摘等も踏まえて、普通の人にとってわかりやすいだけではなく、さまざまな立場の方がアクセスできるような話というのをうまく書ければと思っている。
71	市民の党	斉藤 シンイチ	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉	基本施策1 支え合いの気持ちをつむぐ	心のバリアフリー	心のバリアフリー事業は、どうしても啓発といったような形になるが、そうではなく、双方向でそれができるのだというふうなことをニュアンスとして伝えていただければ、次につなげていくのではないかなと思うが、その点、いかがか。	【渡邊委員】御指摘のとおりで、双方向でやれる話と考える。啓発事業だと、そこに当事者がいかなかったりして、それではあまり啓発事業の意味がない。今後充実がどこまで図れるか等はぜひ策定委員会等で議論したいと思うし、よりよいご提案があれば、ぜひいただきたい。
72	日本共産党武蔵野市議団	橋本 しげき	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策1 子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援	待機児童	「早期の待機児童解消に向けた計画的な施設の整備」とあるが、どういう施設整備をイメージされているのか。また、待機児童の解消の目的(方向性)について、策定委員会では、どのような議論をしたのか。	【松本副委員長】認証保育所を認定にしていけるのかとか、小規模保育施設をどうするかとか、認定こども園も、他市では本当に立ち行かないところも出ていて聞いている。認定こども園もどうしていくのかとか、そういう新しい子どもの新制度に絡めながら待機児童の解消に向けて、スピード感を持ってやっていきたいというのは策定委員会の議論の中では出ている。
73	日本共産党武蔵野市議団	橋本 しげき	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策3 青少年の成長・自立への支援	学童クラブ	学童クラブの「高学年児童については、在籍児童の状況を踏まえて、受け入れるための人的・物的環境の整備を図る」とあるが、これは調整計画の期間中に6年生までの受け入れも視野に入れての記述になっているのか。	【松本副委員長】5・6年生まで拡大されたということで、これは賛否両論全国で沸き起こっていて、賛否の否のほうが大きい。5・6年の子が小さい子と一緒に遊ぶと思うのかと。学童クラブの5・6年生まで受け入れるのであれば、学童保育の中身をどうするのかとか、そういうことも含めて本当は議論しなくてはならないはず。学年の小さな、とにかく安全を確保しなくてはならない優先の高い小さな子どもたちのところに学童保育の枠組みを充てていきながら、学童保育を利用したい、させたい親御さん、子どもさんのニーズに合わせて五、六年に拡大していくかどうかということを検討にのせていくと認識をしている。
74	日本共産党武蔵野市議団	橋本 しげき	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策5 次世代を担う力をはぐくむ学校教育	学校給食	建替え・改築の検討というのは、自校給食の話も含めて、具体的な検討までこの調整計画期間中にやるのか、それとも大まかな考え程度なのか。	【松本副委員長】防災関連のことも含め、あるいは学校給食の全体の食育のことも含め、考えていかなくてはならない課題であるが、いつまでの段階でどういうふうにするかは、策定委員会の中では十分な議論はされていない。 【五十嵐委員】学校施設整備基本計画(仮称)を27年度中に検討していく。その議論を見ながら、調整計画の期間中、あるいはその期間の終了後ぐらいに、築後60年を迎える学校があるので、そういう学校については調整計画の期間中に一定のアクションは必要になる。ただし、築後60年を越えても使うことも考えられるので、学校施設整備基本計画(仮称)の検討の中で決めていく。
75	日本共産党武蔵野市議団	橋本 しげき	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策1 子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援	待機児童	認可保育園の増設を明記してほしい。	
76	日本共産党武蔵野市議団	橋本 しげき	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策2 互いに尊重し認め合う平和な社会の構築	平和施策の推進	平和施策のことで策定委員会での議論があったのかをお聞きしたい。	【夏目委員長】武蔵野は、この多摩地域は戦争のときに大変な地域であり、傷跡がたくさん歴史的な表現として残っている。ふるさと歴史館の中に展示するようになっていくが、戦争の証言や資料等が失われぬうちに整備をしていくということは大事なことである。しかも、もう戦争を知っている世代の方が相当減ってきて、団塊の世代が伝えなければならない責任が出てきている。そうしたことをしっかりと認識の中に醸成していくことが大事ではないか。イスラム国の問題も新しく起こっているのも、もし書き加える必要であれば、議員の皆さんからも御意見をいただいて、さらに充実した平和施策の推進をできたらと思っている。
77	日本共産党武蔵野市議団	橋本 しげき	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策3 市民文化の醸成	公共施設	「三駅周辺には集会機能やホール機能を有する施設が重複しており、役割の整理が必要である」と記載している。これは具体的にどういうことなのか。 「集会機能を有する市民会館やホール機能を有する芸術劇場は、それぞれの圏域における面的な施設配置から役割や位置づけを検討する」とあるが、役割とかな今の位置づけを要するニュアンスもあるが、どのようにイメージしているのか。	【堀井委員】武蔵野については、プレイス、スイング、市民会館があり、おのおの利用されている。単独に施設ごとに機能づけをする必要はないと思っており、この3施設を市としてどのように位置づけていくのか、その検討が必要だろう。芸術劇場は、中央園としては文化会館があるので、文化会館の果たす役割は何なのか、この辺を改めて、すぐに方向づけて廃止や再建するということではなく、しっかりと施設のありようをこの時点で検討しておくべきだろう。
78	日本共産党武蔵野市議団	橋本 しげき	V 分野別の課題と方向性	3. 今後の策定の流れ	基本施策3 市民文化の醸成	公共施設	三駅周辺にあるいろいろな施設について、それぞれの施設に明確な役割分担というのは多分できないと思う。それぞれ複合的な機能があり、施設の利用の状況なり、実際に使われている中身を、余り細かく分析する必要はない。	

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
79	日本共産党武蔵野市議団	橋本 しげき	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策4 市民の多様な学びやスポーツ活動への支援	吉祥寺図書館への指定管理者制度導入	吉祥寺図書館についても指定管理者制度の導入を図るという記述は、どういう議論の経過があったのか伺いたい。管理者制度導入というのが、民間ももし入ってくるとなると、弊害が大きくなる。民間の導入というも含めての議論なのか。民間参入による弊害はないのか。	【夏目委員長】吉祥寺図書館の機能が現在単なる貸し館業になっているのであれば、そのこと自体を見直さなければならぬ。今、全国の大学でも、学校の図書館も見直しが行われてきている。それから書籍のネット化ということも随分起こっている。そのような方向性も含めて検討すると認識している。 【五十嵐委員】プレスでの指定管理者の工夫によって、非常に図書館自体も多くの方に喜んで利用していただいているという実績がある。吉祥寺図書館についても、さらにサービスを向上していくために、指定管理者制度の導入を図る。また、民間事業者の参入もあり得る。 【堀井委員】26年度に指定管理者についての見直しを行い、結果として民間事業は入っていない。今後検討する中でも、前回の評価の手法や評価の判断の基準は、前回の判断基準をそのまま継続していきたい。
80	日本共産党武蔵野市議団	橋本 しげき	V 分野別の課題と方向性	5 都市基盤	基本施策7 三駅周辺まちづくりの推進	中央地区	長期計画や調整計画討議要綱でも記載されている土地の高度利用はどういうイメージを持っているのか(ツインタワーのようなものがあつた方がよいのか、それとも一定の節度を持つべきなのか)	高度ということが高さが高いということではなく、クオリティーが高いという意味。高い建物を建てて、商業施設、住宅を入れるという意味ではない。三鷹の文化を考慮すべきだということに思っているため、検討する。
81	会派に属さない議員	きくち 太郎	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策4 子ども・子育て家庭を支援する体制・施設の整備	子ども施策	高齢者にどんなにお金かけても、いずれあの世に行ってしまう。しっかりと子ども施策をやるべきだ。	【松本副委員長】これはもう人権侵害。財源があつて、それをどう配分していくのかは、かなり慎重に考えていきたい。
82	会派に属さない議員	きくち 太郎	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策4 子ども・子育て家庭を支援する体制・施設の整備	児童館	児童館は0123の機能もあるし、小・中学生も対象にした施設であるので、むしろ児童館が3地域にあつてもおかしくない。0123では4〜5歳離れた子どもは対象としない。年齢を輪切りにしない、縦軸の長い子ども施策が必要である。	【夏目委員長】議員さんの中でどういってお考えが従来議論されて、そしてどうするのか、お考えがあるのかということ、今日改めてお聞きをして、今後、策定委員会の組上りにのせるプロセスになるかと思う。
83	会派に属さない議員	きくち 太郎	V 分野別の課題と方向性	6 行・財政	基本施策5 社会の変化に対応していく行財政運営	財政	質を担保することも非常に大事だということに思っているが、全体の武蔵野市の財政を考えたときには、民間の競争原理を生かしていくべきだと思う。市の職員と民間をうまく組み合わせ、コスト削減を取り組んでいくべき。公が絶対上の質かどうかというのは、別問題。武雄市の図書館のように、さまざまなチャンネルで、民でも質の高いものがあれば、検討していただきたい。	【五十嵐委員】質の問題というのを我々は非常に大事にしている。民間と競争させることが第一だとは言えない。
84	会派に属さない議員	きくち 太郎	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策5 次代を担う力をはぐくむ学校教育	給食(自校方式・親子方式)	自校方式だけでなく、親子方式とか、1つの学校で2校分以上の給食を提供できるような検討すべき。	【堀井委員】質を確保した上で、どのような方法にするのか、なるべくコストを抑えるにはどうしたら良いか、これから検討していく。
85	民主生活者ネット	川名 ゆうじ	III 第五期長期計画の実績			事業評価	今の長期計画を評価しないと、PDCAが回らない。評価もしないで次の行動計画をつくつたて余り意味がないと思う。どのような評価がされているのか。長期計画の中には、課題A、B、C等々課題が記載しているが、この課題解決に向けて一体どうやってきたのか。横断の視点による評価は載せないのか。	【夏目委員長】チェックの体制が、武蔵野市ではどういふうな形でチェック機能が働いているのか。策定委員会では、必ずしも十分なまま議論したとは思っていない。 【井原委員】やったかやらないかはあるが、やった結果どうなったのか追跡調査をすべきである。この長期計画があくまで理念で、方針のものであるのであれば、下位計画である実行計画では全てそれをやるべきではないのか。
86	民主生活者ネット	川名 ゆうじ	V 分野別の課題と方向性	6 行・財政	基本施策4 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	市民参加	公共施設や学校の再編あるいは縮小するときの市民参加についてが書かれていない。事業においても削減にこそ市民参加が必要である。	【井原委員】市民として責任を持って行政と協働しながら、施策であつたり事業を進めていく。ただ単に受け手ではなく、主体的な市民として動いていくことが必要ではないか。そう考えると、マイナス面での市民参加も必要である。
87	民主生活者ネット	川名 ゆうじ	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策4 子ども・子育て家庭を支援する体制・施設の整備	児童館	児童館は、もう一度組上りにのせるという理解でよいのか。長期計画の中には、桜堤児童館は、その機能・役割を全体的に発展させ、将来的に0123施設化を図ると書かれているが、これに対する評価がない。第四次子どもプランもまだ確定したわけでもないのに、先走り過ぎているような気がする。この点について策定委員会の中ではどういふ議論があつたのか。	【夏目委員長】議論の組上りになつた。圏域別のところで、吉祥寺、三鷹ともに出てきましたし、今日も議員さんから再度議論しろということであつたので、当然これは議論の組上りにのつてくると思う。方向性については、アドバイスをさまざまな方からいただきながら、行政とも相談しながらまとめの作業に入っていく。
88	民主生活者ネット	川名 ゆうじ	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策1 子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援	待機児童	待機児童ゼロを目標としているのか。策定委員会でも共通認識とされているのか。	【松本副委員長】解消なのかゼロなのかについて、策定委員会の中でも議論をした。ゼロにするためにどれぐらいの予算が必要で、その代替予算をどこから持ってくるのかという議論もしないままゼロというふうは無責任に書くのは、抵抗があつたため、「解消」とした。

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
89	民主生活者ネット	川名 ゆうじ	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策1 子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援	少子化対策	今の子育て新制度は、そもそもというのは少子化対策で始まった事業である。少子化対策の長期的なビジョンがなかなか見えてきていないので、この点も書き込んでいくべきである。	【松本副委員長】ただ、少子化対策というのは、子どものことだけ触ってればいい問題ではなく、社会的に複雑で、多様な問題が絡み合っている、どのように基礎自治体の中で少子化対策を組んでいけるのか、策定委員会で考えたが、記述はしなかった。 今後の議論の参考のため、アイデアがあれば伺いたい。 【渡邊委員】日本における少子化の最大の要因は未婚率の上昇である。すなわち、育児環境の悪化ではない。子育て環境だけではなく、結婚等も含めた、あるいは家族のあり方を含めたことも本当は考えていかなければ少子化対策は絶対に解消しない。武蔵野市には、土地が高い、要は子育て世代がここに住んで子どもを得るには、家賃が高過ぎるという問題がある。このあたりをもっと本気で含めるのであれば、これまでの少子化対策とは全く違ったことも恐らく想定していかなければいけないだろう。逆に言うと、私としては、皆さんぜひその覚悟で少子化対策ということを本気で書いていただけますかとということを議員の皆さんには問いかけていきたい。
90	民主生活者ネット	川名 ゆうじ	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策4 市民の多様な学びやスポーツ活動への支援	吉祥寺図書館の指定管理者制度	指定管理者制度を導入することを目的化した記載になっている。	【堀井委員】表現については、策定委員会にもう一度持ち帰って議論をさせていただきたい。
91	民主生活者ネット	川名 ゆうじ	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策3 市民文化の醸成	市民会館	市民会館の本来の持つ役割が果たされているのか評価をしないと、その先に進めない。いわゆる公民館でもない市民会館ってちょっと立場が曖昧なところがあるので、いま一度再考した上でこれは考えるべき。 社会教育施設として、今の運営が適切なのか、この点についても議論してほしい。	【堀井委員】確かに施設という観点なのか、文化という観点から捉えなければいけないのか、その両方が必要だろう。横断という言い方で表現されているが、ほかの観点からの検討というのにも必要になってくるだろう。プレスやふるさと歴史館ができ、どういう役割を果たすかについて、また、本来の社会教育施設として役割を果たしているのかどうかについて、それは再度策定委員会で議論を進めたい。
92	民主生活者ネット	川名 ゆうじ	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策4 子ども・子育て家庭を支援する体制・施設の整備	学童クラブとあそべえの運営主体一体化	全児童対策であるあそべえと学童クラブはそれぞれ目的が違うこと、武蔵野市は学童クラブとあそべえの両方も充実させようとしていることは、策定委員会も共通認識なのか。	【松本副委員長】私はコストカットのための一体化というふうな説明も受けていない。そういう認識で書いてはいいない。
93	民主生活者ネット	川名 ゆうじ	V 分野別の課題と方向性	5 都市基盤	基本施策4 道路ネットワークの整備	道路ネットワーク	公共施設の再編するのであれば、道路も考えなければいけない。今ある道路をなくせとは言えないので、今ある計画について、本当に必要なのか、その効果とか検証も必要ではないか。ランニングコストも踏まえて、本来の目的、役割を踏まえ、時代に合わせたものに見直して整備をしていくということに書き直すべき。 「必要性や優先度、費用を踏まえ、必要な道路整備を進めていく」という表現のほうがいい。	【井出委員】道路計画を見直さないわけではなく、必要性を踏まえというふうに書いたのは、本当に必要なかどうか検討して、それに基づいて実施する意味であるが、誤解を招くような記述であれば、さらに検討させていただきたい。
94	市議会公明党	田辺 あき子	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策3 市民文化の醸成	都市文化	これぞ武蔵野らしい文化の一つの定説として、これからの子どもたちに受け継いでいきたいので、もう一歩踏み込んだ話を伺いたい。 誰もが地域で生き生きと輝けるステージづくり、こうしたものも武蔵野の文化の中にきちんとしたリハビリテーションという一つの視点から、文化を構築できる大きな根幹にもなっていく。それらも含めて、武蔵野の市民文化の醸成ということについて、もう一歩深く話を伺いたい。	【夏目委員】つながりをいかにつくっていくのかということが、結果として武蔵野の文化を育てていく根幹になる。教育においても、必ずしも全部の世代が一緒に集まればいいというものではない。縦軸のつながりも当然要るが、それはその立場の年齢相応のプライドを守ってあげないといけない。一緒にただ遊ぶのではなく、一定の年齢層ごとにふさわしい教育プログラムをきちんとつくり、縦と横が通じた連続性の中で文化というのが、あるいは武蔵野を愛する心というものが芽生えてくる。
95	市議会公明党	田辺 あき子	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策5 地域の特性を活かした産業の振興	産業振興	産官学というのが今まで実績としてはない。こういう視点からのこれからの市の方針というのはこの中に反映されないのか。今の産官学にしても、地域の知的財産をどう文化に生かしていくか、これはお互いの共有財産として、すばらしいエネルギーを私たちにいただき、またそれを市政に反映させてもらいたい。	【五十嵐委員】産官学の連携を強めていく。
96	市議会公明党	田辺 あき子	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活		スポーツ振興の方針	文化・スポーツ振興基本法が成立し、数年しかたっていない。こうした意味からも、しっかりと基盤を長期計画の中で方針を決めていただきたい。	
97	市議会公明党	田辺 あき子	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉	基本施策5 住み慣れた地域での生活を継続するための基盤整備	くぬぎ園	医療ニーズの高い障害者を含む高齢者と障害者の一体的複合施設の設置を視野に入れると記載しているが、市の方針としては、このことをしっかりと推し進めていくということここでここに明記されたのか。	【五十嵐委員】東京都の土地であり、東京都側の計画もあるので、そこは十分に協議をして、武蔵野の地域の事情に少しでも御理解をいただき、適切な必要な施設をやっていく。
98	市議会公明党	田辺 あき子	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策1 子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援	障害のある子どもの支援	障害のある子どもの支援が、長期計画は福祉で記載しているが、今回は教育で記載しているが、どういった意図で移行されたか伺いたい。男女協働参画も含めて、広い意味での人権ということを大きく取りとめてもっとクローズアップしてもいいのではないか。	【松本副委員長】調整計画でも、策定委員会の中では両方併記がいいのという意見も実はあった。福祉のほうから障害の子どもの記述を抜いてしまうと、障害児に福祉施策がなくなってしまうのではないかというように、薄くなってしまっているのではないかというように誤解を与えるのではないかと。 ワンストップで教育に持っていったから、その部署以外は支援しないのではなく、そこを中心にして、市役所内のいろいろな部署が連携とれるような体制ができるという願いを込めた記述にした。

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
99	市議会公明党	田辺 あき子	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策1 子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援	児童館	長期計画の中に記述されている児童館の方向性がそのまま生きているという認識で良いのか。	【五十嵐委員】市民との意見交換会、また、きょうの御議論も踏まえて、この調整計画の最終的な姿の中からは、果たして触れないというふうにはこれまでの方針をただやっつけていけばいいというわけにはいかないだろう。少なくとも、まず策定委員会の中で、形はどういうふうにするかは別として、児童館の問題、この間いただいた意見について議論が必要だ。それは大体合意している事項だと思っており、しっかりと議論をする中で、調整計画案での扱いをどうするか、これも今後考えたい。
100	市議会公明党	田辺 あき子	V 分野別の課題と方向性	5 都市基盤	基本施策7 三駅周辺まちづくりの推進	武蔵境駅高架下の活用	武蔵境駅の高架下については、残された高架下利用についての表記が抽象的で、きちんと載っていない。本来ならば公共施設を設置するという方向を、今回こそ表記し、市の意向を明確に示していくべき。	建築資材の高騰で、その姿勢に少し陰りが見え、相手の民間事業者の方で、討議要綱で、こうしたいですと頑張りますというふうには書くことは無理がある。民間事業者の方と協力して、どうやって相手にインセンティブを与えて事業に参加していただくか、もう少し議論と仕組みが必要である。
101	むさしの無所属クラブ	小美濃 安弘	II 計画策定の基本的な考え方			武蔵野方式のあり方	長期計画条例の記載に、議員と議会との議論を重ねてきたと、議会がここに入っている。どのような議論がされ記載したのか伺いたい。	【五十嵐委員】議会の意思をまとめ、策定委員会と議論したということではない。各議員の皆様それぞれの立場での意見を出していただいて意見交換したというのが事実だと思う。そういう意味では、議会との議論というのはちょっと正確さに欠けたのかもしれない。ここに記載してある内容は、議員の皆様と具体的な意見交換をやってきたということを言いたいわけである。
102	むさしの無所属クラブ	小美濃 安弘	II 計画策定の基本的な考え方			議会参加	我々、議決はするが、基本理念と施策の大綱という非常にやわらかい部分での議決なわけで、個別事業の議決をしているという思いが余りない。各事業の問題は議会として、総意として全員協議会でぶつけようよと、そういう仕組みができたならば、これは市民代表である議会の要望ですから、一議員の要望よりもずっと大きくて重い内容になってくるだろう。このことについて委員長の見解を伺いたい。今までの議員、市民参加、職員参加プラス議会としての意見も聞いてほしい。	【夏目委員長】日常活動で、議員さんは実際に見事に動いておられて、そういう意味で市民の要求、あるいはニーズを受けとめて行政の間に入っていたかというふうなことは相当やっているという私は前提している。
103	むさしの無所属クラブ	小美濃 安弘	V 分野別の課題と方向性	1 健康・福祉	基本施策1 支え合いの気持ちをつむぐ	ボランティア	第四期調整計画で記載があったボランティアが、五長でトーンダウン、討議要綱では記載されない。将来的に、地域リハビリテーションみたいなところの人材確保につながってくるのではないかとと思うが、このボランティアがだんだん後退しているというイメージを私は持った。その辺についてはどうなのか。定義も含めて、ぜひもう少し丁寧に書き込んでいただきたい。	【松本副委員長】ボランティアの大切さとか機能の有効性を弱く見ているつもりはない。今回、討議要綱の中にボランティアという記載が確かにはないが、福祉の分野だけではなくて、子ども、環境、いろいろなところに入っていく。これからはボランティアというだけではなくて、プロボノ、今大変注目されており、武蔵野市でも入ってくるとよいと考える。 【渡邊委員】ボランティアを常に前提ぐらいの勢いで議論をしていたと思っている。どの部分にボランティアの言葉を入れるのが最も効果的なのかという点も含め、ただし、全てにボランティアが記載されるのも、言葉遣いというものは、しっかりと我々のほうで持ち帰って検討させていただければと思っています。
104	むさしの無所属クラブ	小美濃 安弘	V 分野別の課題と方向性	6 行・財政	基本施策3 市民に届く情報提供と市民要望に的確に応える仕組みづくり	広報活動	情報提起・情報公開のやり方について、もう少し細かく、具体的な書き方をさせていただきたい。情報をとんとん出して市民参加につなげていこうという調整計画にしてほしい。	【堀井委員】14万市民に対して、一番効率的な提供としての市報やホームページは、見ていただくという姿勢がないと、なかなかそこは現実の問題として難しいのではないかと。いろいろな情報を取得したいときに、より効率的に、合理的にわかるような情報提供の仕組み、ホームページを充実させる、あるいは市報を読みやすくするなど、取り組んでいかなければいけない。 【渡邊委員】恐らくこの問題を市が頑張っても多分無理だと思う。興味がない人は市のHPにアクセスしないし、市報も見ないだろう。ただし、別に我々全ての人間があらゆる情報をシャットダウンしているわけではない。市が出した情報というものを、必要な情報、興味がある人々がピックアップをして発信しているような仕組みをつくっていただきたい。最近の市民の方々にもいろいろな技術やノウハウが蓄積されている。その方々に、自分たちに興味がある情報を加工しやすく、また発信しやすいように提供することで、市民の方々のほうで、例えばこういった情報を出してほしいなど、市民の側からも発信してほしい。
105	むさしの無所属クラブ	小美濃 安弘	V 分野別の課題と方向性	4 緑・環境	基本施策1 市民の自発的・主体的な行動を促す支援	雨水利活用	雨水浸透ます事業が環境舗装整備に包含されてしまい、道路が水を吸っているということは余り知られていない。市民の協力も必要なので、道路の役割の中に雨水利用もしているのだということを書いていただきたい。	【井出委員】環境のところ下水道を入れたということで、クリーンセンターもできますので、いろいろな環境活動や、市民みずから学ぶ機会を設けようとして、既に具体的に水の学校などいろいろなことをやっている中で、その中で、実は武蔵野市ではこういうやり方がどれだけ機能果たしているかということも、記述して伝えていくということもしていきたい。
106	日本共産党武蔵野市議団	本間 まさよ	IV 人口推計・財政見直し	2. 財政見直し		財政見直し	長期計画では、必ずというか、財政がだんだん厳しくなる、枯渇する、財政危機の状況にあるという記述がされている。しかし、推移と現実で、どんどん差が広がっている。このことにより、本当に必要なことや、やらなければならないことまで声が出せなかったりということになってくる可能性もあるのではないかと。より正確な財政計画を求める。	【堀井委員】今までの長期計画では、予算ベースで物事を考えていたため、剰余金が出た場合の基金への積み立ては、予算を組む際には考えておらず、実際の数字と乖離が生じている。より実態に近い数字を出すべきであり、どういう形で出せるかは今研究の過程ではある。単に予算ベースでの数字ではなく、一定部分が剰余金として必ず執行残額が生じ、例えば5%であったとしても相当の金額になる。その一部を基金に積み立てるということは当然考えられるわけであり、そういうことを踏まえ上での実態に近い財政を出していく。

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
107	日本共産党武蔵野市議団	本間 まさよ	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策1 子ども自身の育ちと子育てで家庭への総合的支援	待機児童	認可保育園の計画的な設置を記述していただきたい。	
108	日本共産党武蔵野市議団	本間 まさよ	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策4 市民の多様な学びやスポーツ活動への支援	吉祥寺図書館への指定管理者導入	図書館の指定管理者については、議論中どころか、まだ議論にもなっていないということは、ぜひ策定委員の皆さんも認識をしていただいて、今後の議論の中に入れていただきたい。	
109	日本共産党武蔵野市議団	本間 まさよ	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策2 誰もが地域で安心して暮らしていただける仕組みづくりの推進	高齢者の医療	医療制度の改定により、基幹病院から転院した場合、長くて3カ月、1カ月ぐらいでも転院しなければならないという状況は、本当に深刻である。それがこの記述の中にも含まれているのか。自治体の中には70歳以上の人の医療費の無料化を東京で初めて実施している日の出町などの事例もあり、医療問題について取り組んでいただきたい。	【渡邊委員】基礎自治体としてどこまでやれるかというところは難しいが、そういった状況があるということは理解している。医療のかかり方というのについては策定委員会の中でも重要なポイントとして議論できればと思っている。
110	自由民主クラブ	近藤 和義	V 分野別の課題と方向性	5 都市基盤	基本施策5 下水道の整備	下水管の拡張	女子大幹線の先に東京都の下水管について、合流改善の貯留槽をつくったが、万全ではない。下水道計画にも書いてあるように、長期計画にも、東京都に下水管の拡張をお願いしたいと書いていただきたい。	
111	自由民主クラブ	近藤 和義	V 分野別の課題と方向性	5 都市基盤	基本施策5 下水道の整備	下水処理場	武蔵野市は下水処理場を持っていない。調子の飛行場の脇につくる計画があるように、他に活路を求めなければならないということも明示すべきではないか。他の数市と一緒に下水処理場をつくるべきだと書き込んでいただきたい。	【井出委員】急激に技術が進んでいる分野なので、10年後、20年後ぐらいのことを書いても、古くなってしまふ。そういう状況のもとで、上位計画で記載するのは、書き過ぎではないか。下水道総合計画を、状況の変化、あるいは危機管理も含めて定期的に見直ししていくべきであるというぐらいのことは書ける。
112	自由民主クラブ	近藤 和義	V 分野別の課題と方向性	5 都市基盤	基本施策7 三駅周辺まちづくりの推進	中央地区	三鷹駅にある3,000平米の市有地の使用方法について、もう少し目的を持った記載にしてほしい。玉川上水の緑と水を生かしたまちづくりと書いてあるが、非常に曖昧な表現である。どういう目的を持ってこれを書いているのか。	【井出委員】まちづくりは、20年以上かかるものである。どういふふうに生かしていくのかを、まだまだ皆さんの議論が出尽くしていない。むしろ積極的に、武蔵野市のやり方として、地元の権利者の方、住民の方も、議員さんも含めて出していきたい、もう少しオープンな議論をしていかないと、早急にここに書けるという状態ではない。共有の場をつくり、そこから議論を立ち上げていくと、そういった仕組みを書くべきではないか。三鷹駅から見て西側の道路沿い、ここが三駅の特徴ある駅周辺のまちづくりの中で、三鷹にとっては非常に価値があり、玉川上水の水と緑を生かした三鷹駅周辺の整備する意味で記載している。
113	自由民主クラブ	近藤 和義	V 分野別の課題と方向性	5 都市基盤	基本施策6 住宅施策の総合的な取り組み	空き家対策	更地にする固定資産税が一編に上がってしまう。このあたりを長期計画で何かうまい解決方法がとれないか。	【井出委員】国の方針で、空き家対策を進めるため、実態調査をすることを打ち出している。武蔵野市もそろそろ実態調査をすべきである。それに基づいて、固定資産税を猶予する。耐震基準を満たしていない建物は、助成を出して除却していただき空き地にする。ただし、固定資産税は3年間ぐらい猶予する自治体も多くある。ただ、別なやり方のところもあって、空き家で人が住んでいなければ住宅として見なさない、重税する自治体もある。そのかわり中古住宅としてマーケットにきちんと出していれば、その分得点をつけてあげて、さらに若い人に補助金を出してそこに住んでもらう取り組みをしている自治体もあるので、一概に安くしてあげるというだけではない使い方もいろいろある。最も有効な使い方があるかということも、地域の状況を含めて、うまく貴重な財産として使っていかれたらと思う。書かせていただきます。
114	自由民主クラブ	近藤 和義	V 分野別の課題と方向性	4 緑・環境	基本施策3 「緑」を基軸としたまちづくりの推進	屋敷森	さまざまな補助や方策をとると書いてあるが、このようなことが行政として可能かどうか、尋ねたい。「誘導と支援の両面から検討を進めていく」と記載しているが、この支援というのは大体どのようなことを考えられているか。	【井出委員】支援というのは、具体的にお金を出すか、あるいは仕組みをつくるかというのは、全くこれは違う。武蔵野市は緑に関する維持管理の費用がすごく高い。ただお金をせせばいいわけではなく、支援により個人のものを守っていくか、あるいは地域の緑として守っていくかというやり方も含めて検討したい。また、緑の流動についても、宅地やマンションの開発、建て替えなどの際に、できる限り雨水ますを設置したり、緑を積極的に活用していただくような、インセンティブをつけてやっていくということである。
115	市民の党	山本 あつし	IV 人口推計・財政見直し	2. 財政見直し		財政計画	五長の特徴として財政的に締め付けをしている。この縛りを取っ払ってほしい。本当に武蔵野の将来をどうするのかを考えて、例えば保育園をふやしていくときに、インシャルやランニングコストはどれくらいかかるか、どれくらい毎年の予算が増えるのか、税収も増えているのか、将来的にはどうなのだと議論をきちんとしてほしい。	

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
116	市民の党	山本 あつし	Ⅱ 計画策定の基本的な考え方	3. 今後の策定の流れ		議論内容等	スケジュール感や議論の内容について、行政の枠内にとどまっている。もう一歩進んだ議論してほしい。	【夏目】スケジュール感は無視できない。これを全部取っ払ってやるとなると、これはもう学会並みの議論が出てきます。それをここでやるという場ではないと思っていますので、私の立場としてはスケジュール感を持たざるを得ない。あくまで全体像があって、長期計画で市政が動いているのだということの実態を踏まえた上で、それで調整計画がある、そのスケジューリングがあるのだというふうにも認識している。 【井原】僕らは行政の出したたき台に対する上書き修正しかしていないのではないかと、それが本当に正しいのか疑問である。市民の方が行政といろいろな意見交換をまず先にやる。それから議員とも意見交換をする。今日の議員の意見・提案は、行政から見た角度とは別のものがたくさんあった。そういうのを見た上で、そういう考え方もあったのだなというふうに進めていったら、全然違うたき台ができたのではないかと。六長では、新しい市民参加のあり方、それから議会の皆さんの関与のされ方、スケジュールの枠の中で、いろいろなやり方の変化できればと思う。
117	市民の党	山本 あつし	Ⅱ 計画策定の基本的な考え方	1. 長期計画・調整計画について		計画の進行管理	つくって終わりでは、僕は非常にもったいない。終わった後、どのようにかわり、あるいは関与、あるいは監視するのということは一編議論をしていただきたい。	【夏目委員長】別の御指示があれば、そのときにまた検討ということはあるかもしれないが、今のところは考えていない。立場がそこまで変わっていない。
118	民主生活者ネット	深沢 達也	V 分野別の課題と方向性	5 都市基盤	基本施策7 三駅周辺まちづくりの推進	吉祥寺南口周辺のまちづくり	公園と一体のまちであり、同時に水辺のまちでもある。水辺のまちの記載について、策定委員会で御検討はお任せするが、何かそれに対する御意見があればいただきたい。	【井出委員】水辺のまちというのは、正直すごく意外で、新しい切り口であるので、ぜひ参考にさせていただきたい。
119	会派に属さない議員	内山 さとこ	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策1 子ども自身の育ちと子育てで家庭への総合的支援	子ども・子育ての条例	子ども・子育て、新たな支援制度が本格実施の中で、みずからの育つ環境を、子どもの最善の利益を尊重して、きちんと武蔵野はつくっていく条例が必要である。あそべえと学童クラブがこれから統合されていく子育て機能、施設の再編を視野に入れていくときに、単なる箱物の閉館だ、再編ではなくて、子育て支援、子どもの育ちを応援する、そういう機能が今どういうふうに進められているかということを引きと示していかないと、市民の理解はなかなか得られない。	【松本副委員長】登校を渋ってしまうお子さんや、保護者の方へのカウンセリングという大変重要な機能も担っている。教育支援センターは残るが、同時に、学校の先生方をどうサポートしていくかということも含めて、子どもをどう育てていくのか、どういう子どもの育ち方を支援していくのかは、大変重要な議論だと認識している。子どもの声を出していく場を保障すること、子どもの声をどう反映させていくかということのこの2つが伴わないと意味がない。このあたり、検討課題として、盛り込めるかどうか、課題としては十分認識しており、検討をする。
120	会派に属さない議員	内山 さとこ	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策1 地域社会と市民活動の活性化	地域フォーラム	単なる国の制度によらない、武蔵野の新たなコミュニティ構想というのは、政策資源が縮小する中で、武蔵野での支え合いのコミュニティ、それを福祉の視点で新たなコミュニティ構想としてきちんと提示していくということが求められていると考えるが、ご意見いただきたい。	【渡邊委員】武蔵野らしい地域ケア会議のあり方、あるいは地域ケア会議と地域コミュニティの連携のあり方というものを、どういった形でできるか、議論したり、あるいは市民の方にそういったものをつくるか提案というものを投げかけていければと思っている。
121	市議会市民クラブ	土屋 美恵子	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策1 子ども自身の育ちと子育てで家庭への総合的支援	幼児期の教育、保育の質の向上	子育てで専業主ママ・パパ、ワーク・ライフ・バランスなど、多様なそういう子育てしていく形態があるが、その記載がなかった。子育てで専業主ママ・パパ、ワーク・ライフ・バランスなど、多様なそういう子育てしていく形態があるが、その記載がなかった。子育てで専業主ママ・パパ、ワーク・ライフ・バランスなど、多様なそういう子育てしていく形態があるが、その記載がなかった。子育てで専業主ママ・パパ、ワーク・ライフ・バランスなど、多様なそういう子育てしていく形態があるが、その記載がなかった。	【松本副委員長】幼児教育の重要性の記載が弱いと指摘されるのであれば、そのようなと思うが、重々認識はしている。多様な生き方、多様な人生、多様な子育てなどがあることも認識している。ただ、認識をまた改めさせていただいたという点では、本当にいい御意見をいただいた。
122	市議会市民クラブ	土屋 美恵子	V 分野別の課題と方向性	3 文化・市民生活	基本施策3 市民文化の醸成	文化振興	武蔵野市にとっては、文化の位置づけが見えにくいので、しっかりとした形をとるべきである。市民活動、生涯学習などいろいろな幅での意見を書き込んでいただきたい。市民会館が武蔵野市としては生涯学習、社会教育の拠点であり、文化振興の拠点にするべきなのか、プレイスとの兼ね合いもしっかりと位置づけた上で基本方針をつくってほしい。	【堀井委員】境浄水場は、まだ正式な話がなく、策定委員会で議論できていない、記載がない。 【五十嵐委員】個別の施設のあり方は、これから議論して方針をつくるので、今こういうものだとはっきり決めつけることはいたしません。ただし、市民会館のあり方の議論は必要ではないかとの意見があったので、策定委員会の中でも取り組んでいければと考えるが、文化振興に関する方針の中に書き込めるかは断言できない。
123	市議会市民クラブ	土屋 美恵子	V 分野別の課題と方向性	5 都市基盤	基本施策7 三駅周辺まちづくりの推進	武蔵境駅の南北一体のまちづくり	具体的な記載がない。	
124	市議会市民クラブ	土屋 美恵子	V 分野別の課題と方向性	5 都市基盤	基本施策7 三駅周辺まちづくりの推進	武蔵境市政センターの移転	討議要綱に記載がない。再度鉄道業者または違う方向からの検討をしていくということに記載してほしい。	【堀井委員】市政センターは、長期計画に記載した方針自体に変わりはないため、討議要綱では記載していない。ただ、地域として不安感があるのであれば、書くべきかどうか、また策定会議で検討を進めたい。
125	市議会市民クラブ	土屋 美恵子	V 分野別の課題と方向性	5 都市基盤	基本施策7 三駅周辺まちづくりの推進	玉川上水	地域の中の活性化、地域商店街の活性化、商業振興及びまちづくりの意味でも、かなり意義あることなので、継続した玉川上水の景観を進めてほしい。	
126	民主生活者ネット	西園寺 みきこ	V 分野別の課題と方向性	4 緑・環境	基本施策2 環境負荷低減策の推進	ごみ問題	埋め立て処分場に関しては、どのような御議論があったのか。	【井出委員】策定委員会の中では、議論していない。ただ、武蔵野市単独でできる議論ではないというのは、よく御存じのとおりだと思う。市としてできること、エコセメントで頑張っているということ、ただ、それも非常に厳しく、チャレンジ600、チャレンジ700を目標に、市民にいろいろな協力をお願いしているという話が出た。武蔵野市のごみの問題がこれだけ深刻であることを、環境教育の中できちんと子どもから大人まで伝えていきたい。

第五期長期計画討議要綱に対する意見集約表(市議会全員協議会)

通番	会派	氏名	討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	回答の要約
			大項目	中項目/分野	項目			
127	会派に属さない議員	きくち 太郎	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策1 子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援	子ども支援、教育	調整計画において、子育て支援、教育を最重要施策として進めていただきたい、	
128	会派に属さない議員	きくち 太郎	V 分野別の課題と方向性	2 子ども・教育	基本施策1 子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援	子育て応援券	子育て応援券をぜひ検討していただきたい	